

ほくほくフィナンシャルグループ 2026年3月期 会社説明会資料

2026年5月26日

1. 2026年3月期決算概要	・ ・ ・ P.4
2. 中期経営計画の見直し	・ ・ ・ P.12
3. 企業価値向上に向けた取り組み	・ ・ ・ P.16
4. 経営基盤の強化	・ ・ ・ P.29
参考資料	・ ・ ・ P.33

2026年3月期 決算概要

連結当期純利益は過去最高、ROEは大幅に改善し中期経営計画目標を達成

- 利回り改善を主因に資金利益が増加し、コア業務純益は前期比265億円増加
- 連結当期純利益は前期比198億円増加の588億円、ROEは2.61%改善の8.66%

中期経営計画の 見直し

中期経営計画最終年度の経営指標目標を上方修正

- ROE：8%台→8.5% 連結当期純利益：550億円→650億円 OHR：50%台→40%台後半
- 各経営指標の長期目標、一部のKPIも上方修正

企業価値向上に 向けた取り組み

PBR1.0倍超の定着に向け、ROEの持続的な向上を目指す

- 各種施策の進捗は良好。資産規模・顧客基盤を活かした収益力の強化を継続
- 2026年度の配当予想は前期比40円増配の150円、併せて100億円の自己株式取得を実施

2026年3月期決算概要

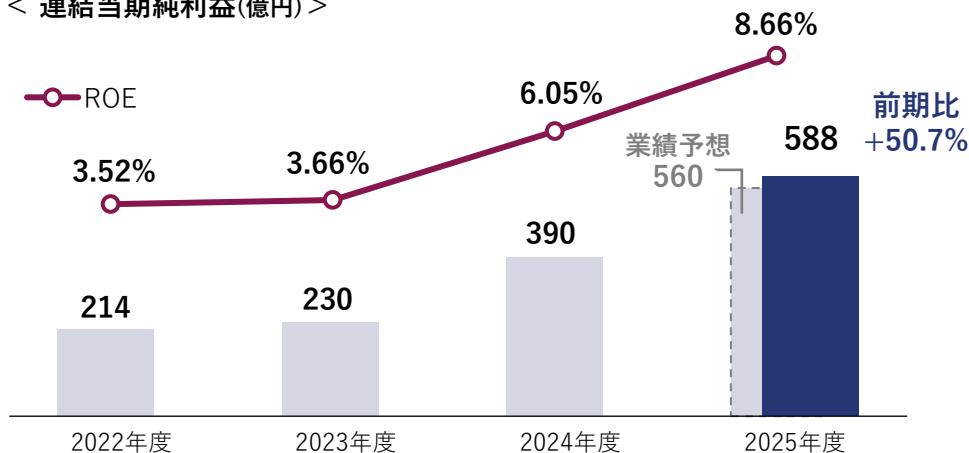


資金利益や役務取引等利益が堅調に推移し、連結コア業務純益は265億円増加。与信関係費用の減少等もあり連結当期純利益は前期比198億円増加（同+50.7%）の588億円と過去最高益での着地。ROEは2.61ポイント改善の8.66%。

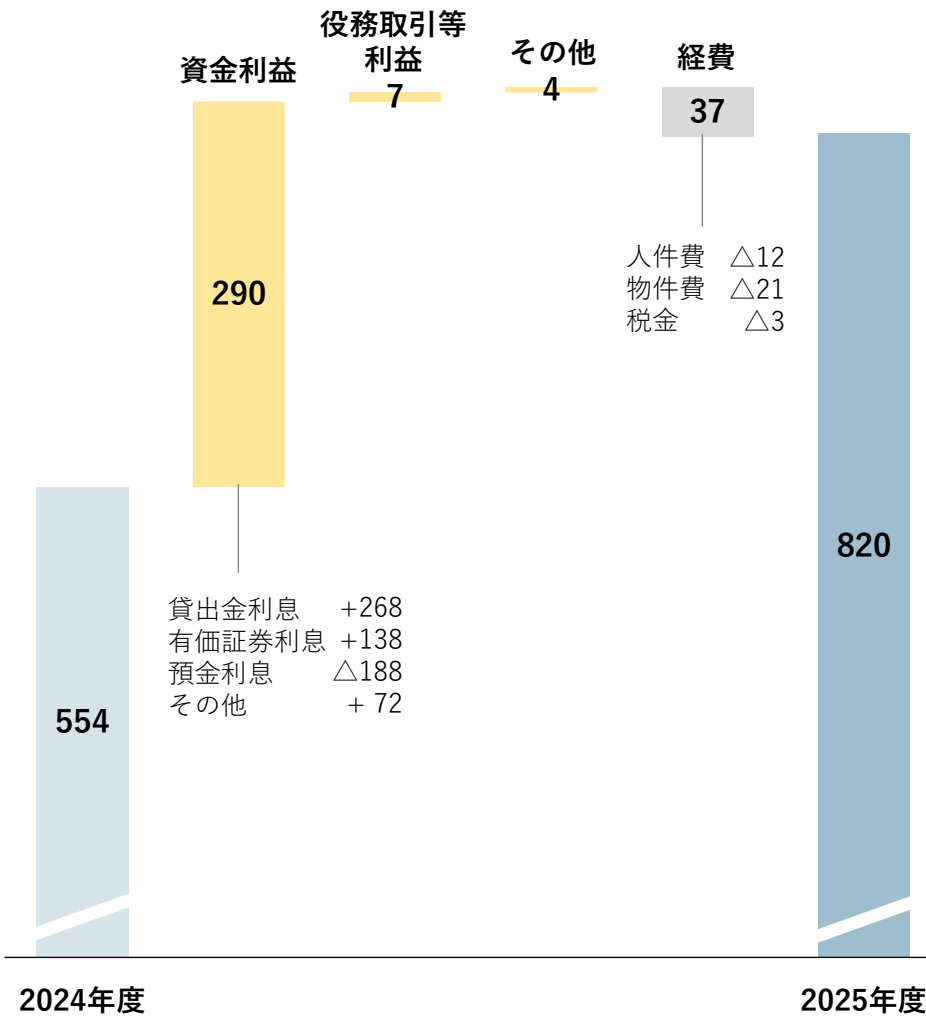
連結（億円）	業績 予想	2025年度		2024年度
			前期比	
コア業務粗利益		1,720	302	1,418
資金利益		1,415	290	1,125
役務取引等利益		273	7	266
経費（△）		900	37	863
（参考）OHR		52.33%	△ 8.57%	60.90%
コア業務純益		820	265	554
有価証券関係損益		△ 81	△ 100	18
与信関係費用（△）		△ 55	△ 131	75
経常利益	【780】	807	291	516
法人税等（△）		207	64	143
当期純利益	【560】	588	198	390

2行合算（億円）	2025年度		2024年度
		前期比	
コア業務粗利益	1,604	287	1,317
資金利益	1,420	284	1,135
うち貸出金利息	1,234	270	964
うち有価証券利息	421	131	290
役務取引等利益	183	△ 4	188
その他（国債等債券損益除く）	△ 0	6	△ 7
経費（△）	831	33	797
（参考）OHR	51.82%	△ 8.72%	60.54%
コア業務純益	772	253	519
国債等債券損益	△ 290	△ 206	△ 83
実質業務純益	482	46	436
与信関係費用（△）	△ 62	△ 131	68
株式等損益	208	108	100
経常利益	767	294	472
特別損益	△ 8	△ 29	21
法人税等（△）	194	62	132
当期純利益	564	203	361

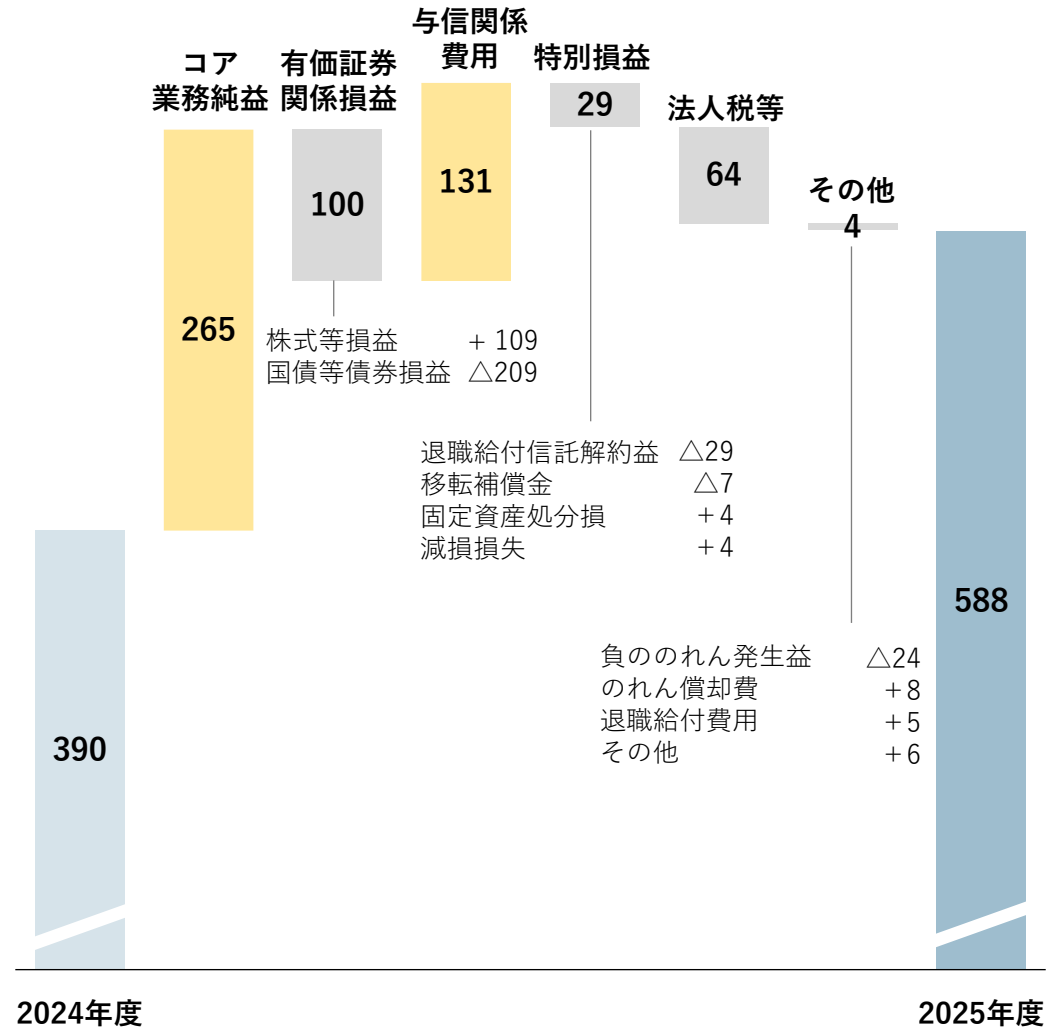
< 連結当期純利益(億円) >



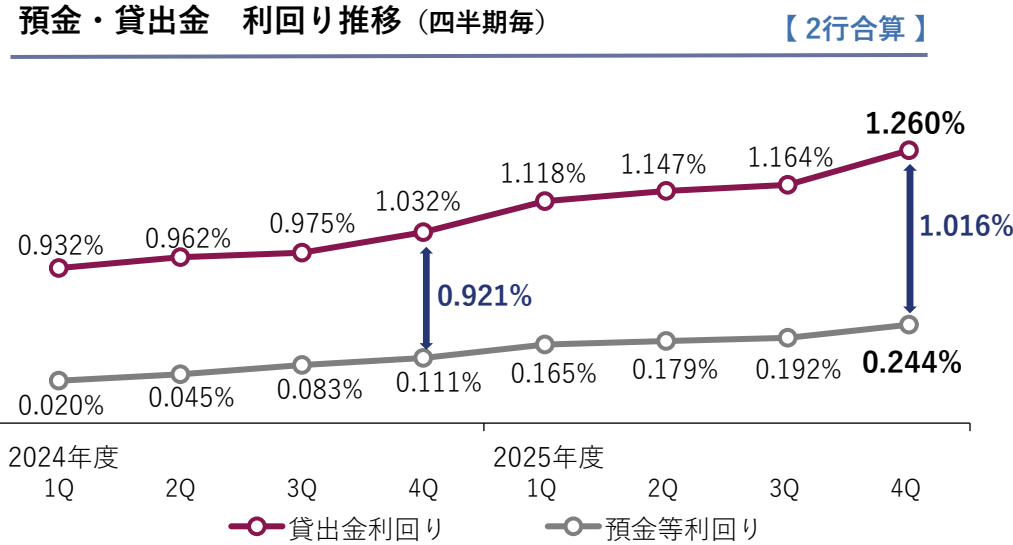
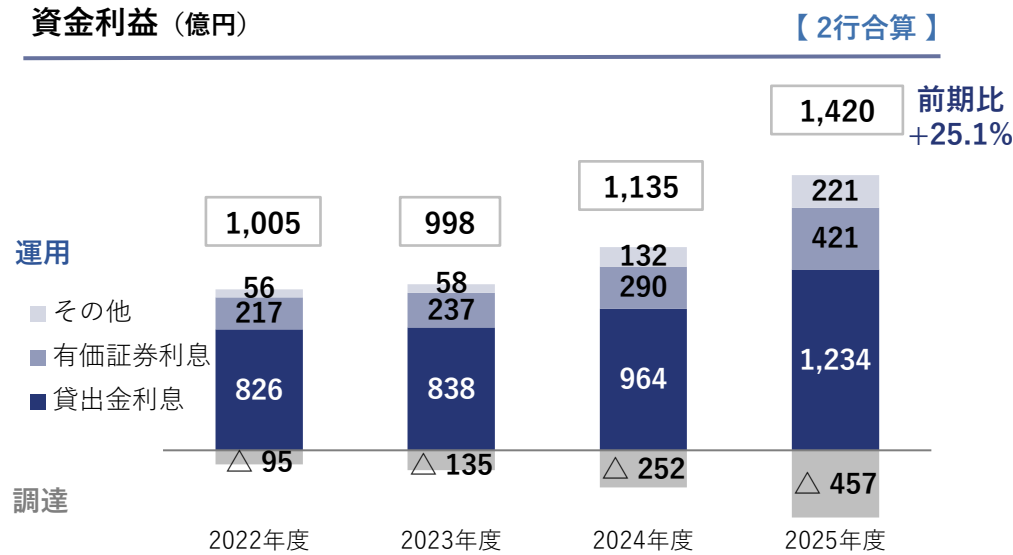
トップライン[コア業務純益] 増減要因 (億円)



ボトムライン[当期純利益] 増減要因 (億円)

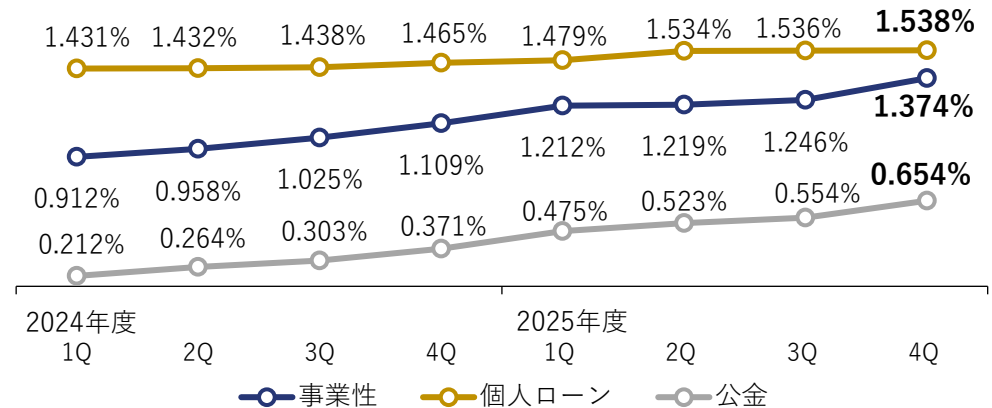


貸出金・預金残高の伸長に加え、利ざやの拡大により資金利益は前期比284億円増加（同+25.1%）の1,420億円。



	2行合算		北陸銀行		北海道銀行	
	2025年度	前期比	2025年度	前期比	2025年度	前期比
資金利益	1,420	284	833	210	587	74
うち貸出金利息	1,234	270	666	169	568	100
平残	105,245	6,517	59,818	5,208	45,427	1,309
利回り	1.17%	0.20%	1.11%	0.21%	1.25%	0.19%
うち有価証券利息	421	131	351	122	70	8
平残	21,727	1,242	12,709	832	9,018	410
利回り	1.94%	0.53%	2.76%	0.84%	0.78%	0.07%
うち預金利息（△）	280	189	165	111	114	77
平残	143,698	2,973	81,348	2,008	62,349	965
利回り	0.19%	0.13%	0.20%	0.14%	0.18%	0.12%

<セグメント別貸出金利回り（円貨・四半期毎）>



法人・個人ともにコンサルティング手数料が堅調に推移。連結ベースの非資金利益は前期比12億円増加の305億円。

非資金利益 (億円)

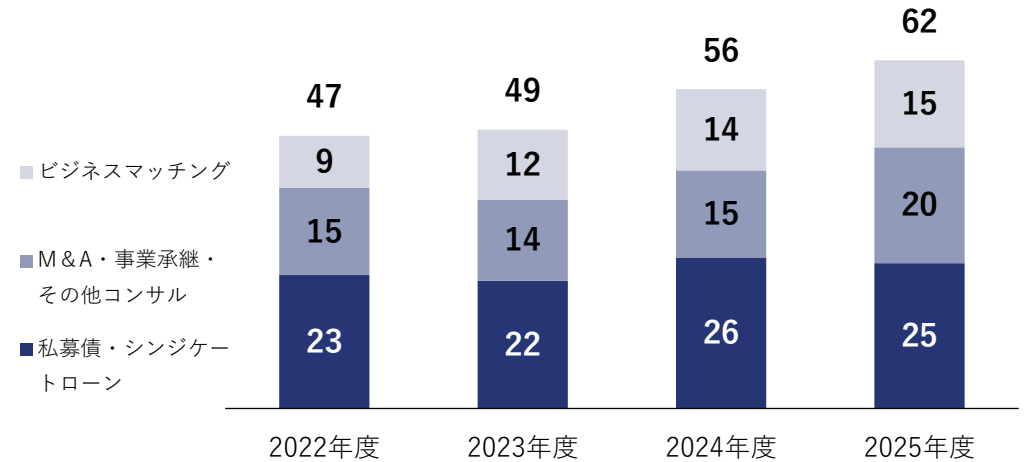
FG連結	2025年度	前期比	2024年度
	非資金利益	305	12
2行合算 (①+②+③)	183	2	181
役務取引等利益・・・①	183	△4	188
役務取引等収益	365	2	362
うち受入為替手数料	94	0	94
うち投信・保険関係手数料	58	△0	58
うち私募債・シンジケートローン	25	△0	26
うちビジネスマッチング	15	0	14
役務取引等費用 (△)	181	7	174
うち支払為替手数料 (△)	11	1	10
うちローン保険料・保証料 (△)	141	4	137
特定取引利益・・・②	1	0	1
その他業務利益 (除く5勘定戻)・・・③	△1	6	△8

※特定取引利益…特定金融派生商品収益等、その他業務利益…外国為替売買損益、金融派生商品収益等

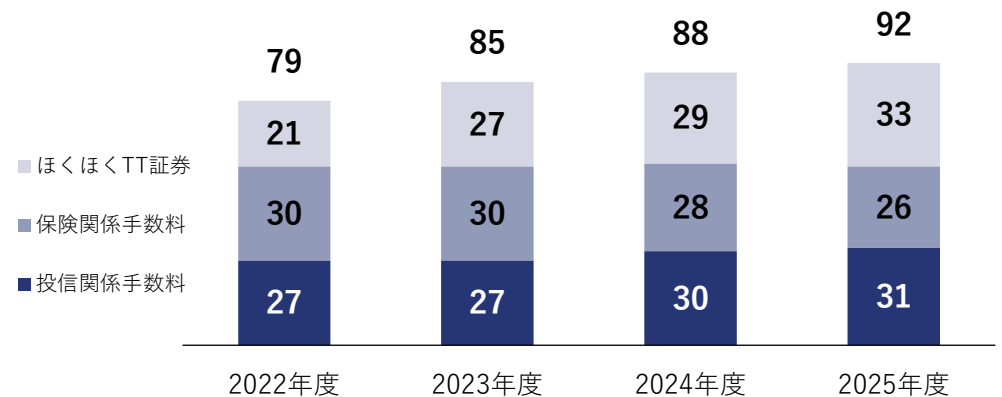
(主要子会社の状況)

ほくほくコンサルティング	18	8	9
ほくほくTT証券	23	1	22
北銀リース	11	1	9
北陸カード、道銀カード	49	0	48

<法人コンサルティング手数料 (億円)> [2行合算+ほくほくコンサルティング]



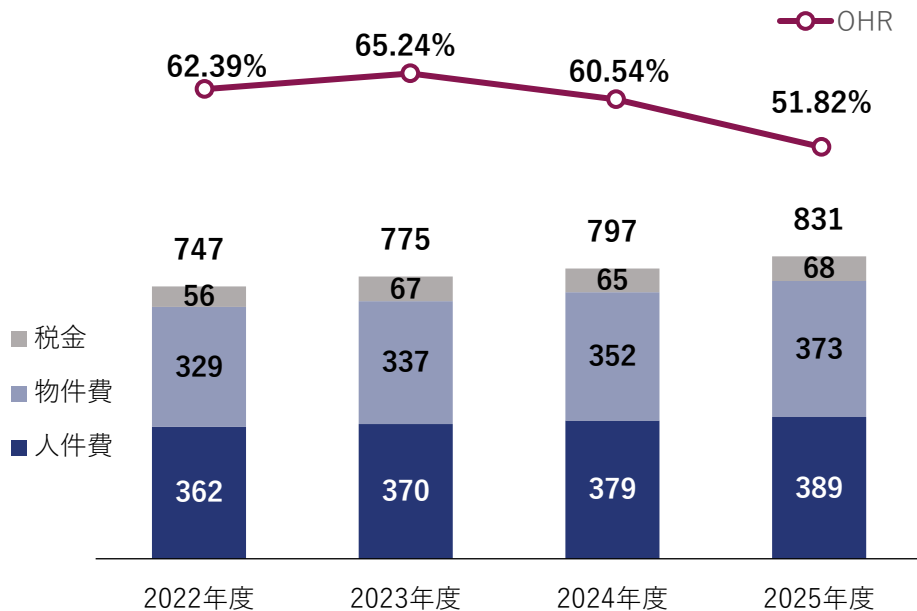
<個人コンサルティング手数料 (億円)> [2行合算+ほくほくTT証券]



経費は人的投資やシステム投資により増加したが、トップラインの上昇によりOHRは50%台前半へ改善。
与信関係費用は引当率の低下などにより貸倒引当金が減少。

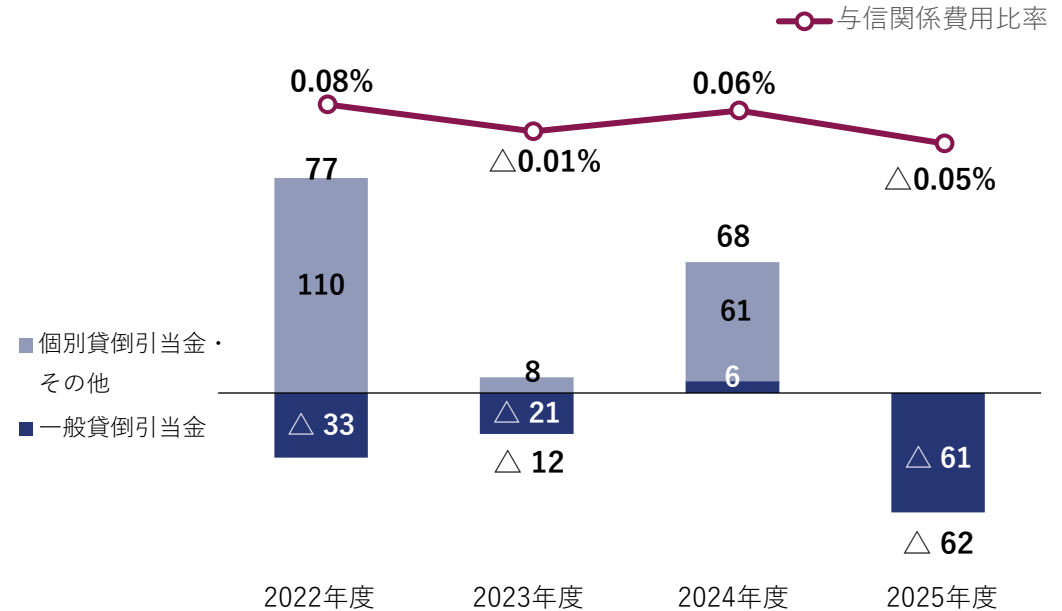
経費・OHR (億円・%)

【2行合算】



与信関係費用 (億円・%)

【2行合算】

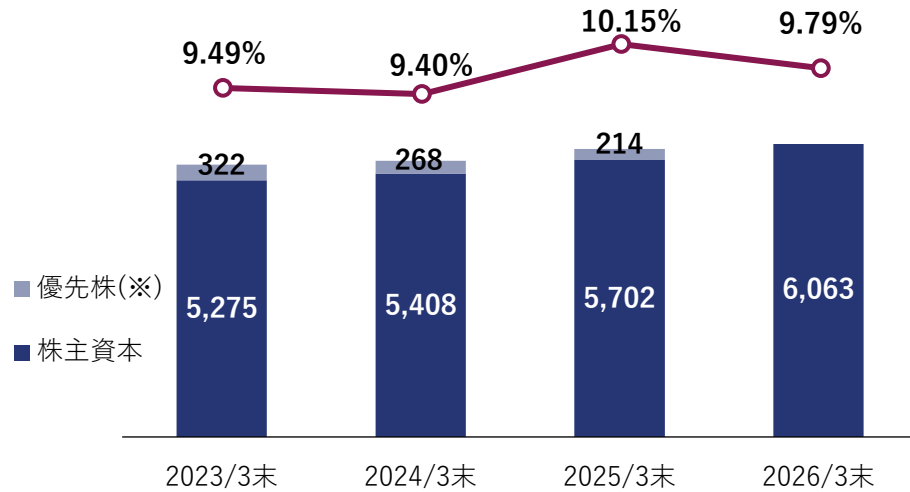


	2行合算		北陸銀行		北海道銀行	
	2025年度	前期比	2025年度	前期比	2025年度	前期比
	経費	831	33	442	22	388
人件費	389	9	211	5	177	3
物件費	373	21	194	13	178	7
税金	68	3	37	3	31	0

	2行合算		北陸銀行		北海道銀行	
	2025年度	前期比	2025年度	前期比	2025年度	前期比
	与信関係費用	△62	△131	△31	△50	△31
一般貸倒引当金繰入	△61	△68	△46	△66	△15	△2
個別貸倒引当金繰入・その他	△0	△62	15	16	△15	△78

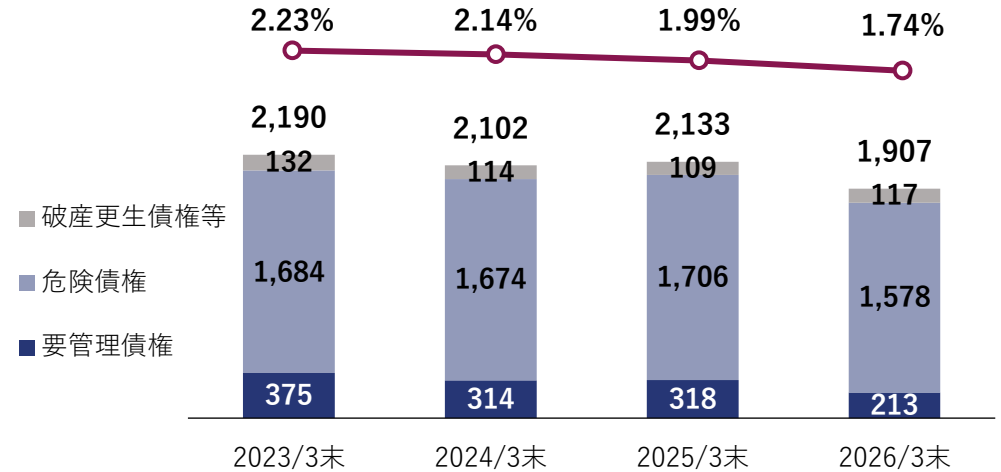
2025年4月に優先株式を全部取得。また、貸出金の伸長に伴いリスクアセットは増加したが、自己資本の積み上げにより自己資本比率は9%台後半を確保。

連結自己資本・比率 (億円・%)



金融再生法開示債権・比率 (億円・%)

【2行合算】



※ 2025年4月1日、第5種優先株式を全部取得しております。

	2023/3末	2024/3末	2025/3末	2026/3末
FG連結	9.49%	9.40%	10.15%	9.79%
自己資本	5,702	5,797	6,051	6,080
リスクアセット	60,044	61,630	59,597	62,055
北陸銀行	9.06%	9.12%	10.08%	9.65%
自己資本	3,205	3,345	3,514	3,653
リスクアセット	35,354	36,651	34,847	37,853
北海道銀行	8.99%	8.97%	9.37%	8.76%
自己資本	2,167	2,194	2,227	2,037
リスクアセット	24,102	24,460	23,773	23,257

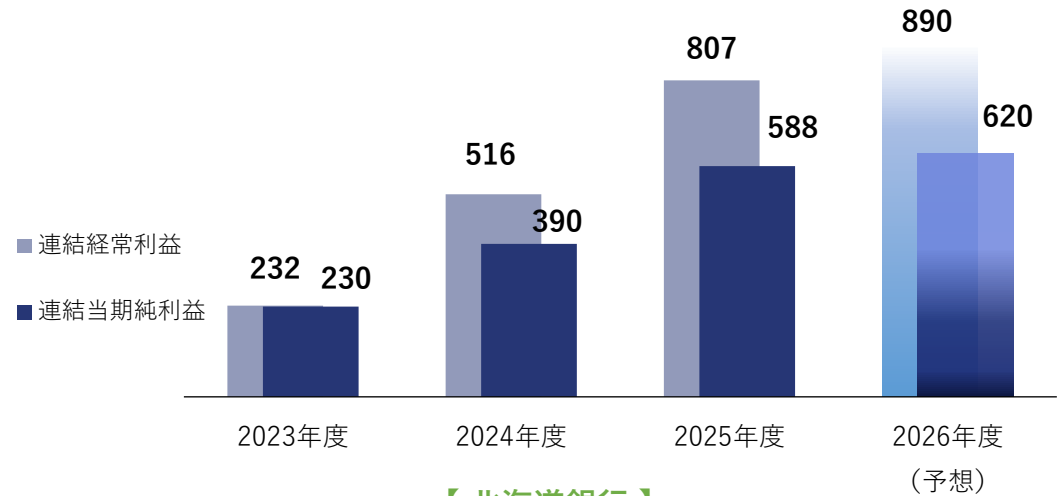
	2023/3末	2024/3末	2025/3末	2026/3末
北陸銀行	2.67%	2.57%	2.24%	1.90%
破産更生債権等	89	78	61	73
危険債権	1,067	1,076	1,051	996
要管理債権	258	208	232	128
合計	1,413	1,362	1,344	1,197
北海道銀行	1.72%	1.64%	1.67%	1.52%
破産更生債権等	43	36	48	44
危険債権	617	599	655	582
要管理債権	117	106	86	85
合計	777	740	789	711

貸出金利息や非金利収入等の本業利益が堅調に推移することが見込まれ、連結経常利益は前期比82億円増加の890億円、連結当期純利益は前期比31億円増加の620億円の計画。

2026年度 通期業績予想 (億円)

【連結】

	2026年度 業績予想		2025年度 実績
	前期比		
経常利益	82	890	807
当期純利益	31	620	588



【2行合算】

	2026年度 業績予想		2025年度 実績
	前期比		
コア業務粗利益	125	1,730	1,604
経費 (△)	83	915	831
コア業務純益	42	815	772
与信関係費用 (△)	122	60	△ 62
経常利益	62	830	767
当期純利益	10	575	564

【北陸銀行】

	2026年度 業績予想		2025年度 実績
	前期比		
コア業務粗利益	72	1,030	957
経費 (△)	52	495	442
コア業務純益	20	535	514
与信関係費用 (△)	66	35	△ 31
経常利益	38	555	516
当期純利益	0	385	385

【北海道銀行】

	2026年度 業績予想		2025年度 実績
	前期比		
コア業務粗利益	53	700	646
経費 (△)	31	420	388
コア業務純益	21	280	258
与信関係費用 (△)	56	25	△ 31
経常利益	23	275	251
当期純利益	11	190	178

中期経営計画の見直し



第6次中期経営計画（2025年4月～2028年3月）「NEXT STAGE」

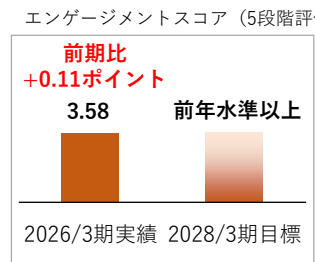
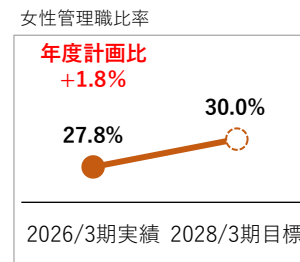
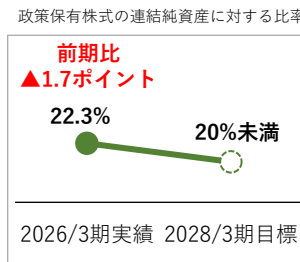
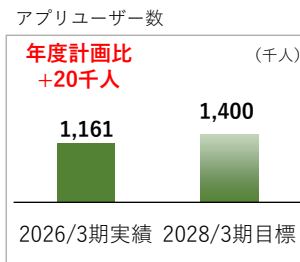
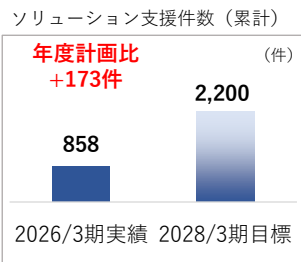
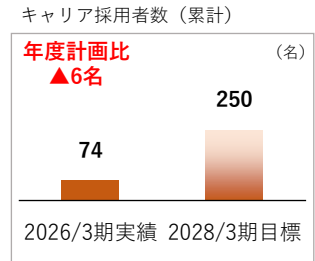
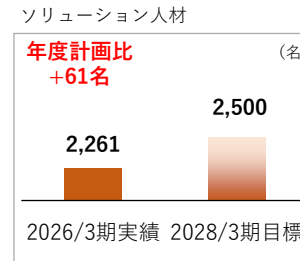
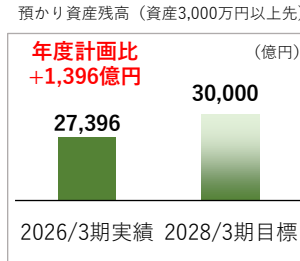
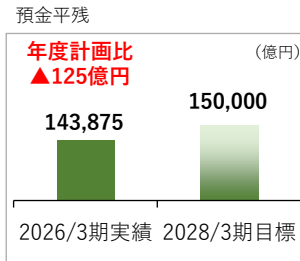
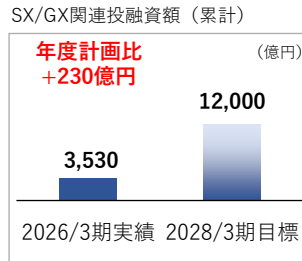
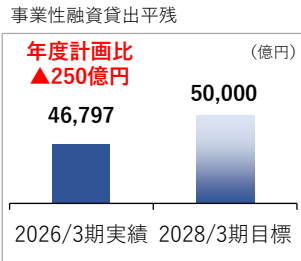
		2026年3月期 実績		2028年3月期 目標
		前期比		
①	連結ROE	8.66%	+2.61%	8.5%
②	連結純利益	588億円	+198億円	650億円
③	連結自己資本比率	9.79%	▲0.36%	10%台
④	OHR（2行合算）	51.82%	▲8.72%	40%台後半

【戦略のエンジン】

金融・非金融の融合による
課題解決力の深化

持続的な成長を支える
経営基盤の強化

多様な人材が活躍し
活力あふれる企業文化の定着



※M&Aアドバイザー業務・経営コンサルティング業務・DX支援件数

※従業員向けのエンゲージメント調査結果における5段階評価の平均値

堅調な業績推移を踏まえ経営指標目標を上方修正

バックキャスト

当社の目指す姿
地域のお客さまの繁栄への貢献

地域のありたい姿

1. 潤いと活気あふれる地域
2. 活力ある地域産業に
支えられた豊かな地域
3. SX/GX先進地域

第6次中期経営計画(2025～2027年度)

地域のありたい姿や当社の目指す姿を実現するため
「地域・お客さまの課題解決」と「当社の企業価値向上」
を共に実現する期間

(当初長期目標)

ROE 10%
自己資本比率 10～11%台
当期純利益 800億円
OHR (※) 50%程度

経営指標	当初目標 (2027年度)	修正後目標 (2027年度)
ROE	8%台	8.5%
当期純利益	550億円	650億円
自己資本比率	10%台	10%台
OHR (※)	50%台	40%台後半

当初長期目標	修正後長期目標
10%	11%
800億円	900億円
10～11%台	11%台
50%程度	40%台前半

政策金利前提

2025年度に0.75%に引上げ
以降据え置き

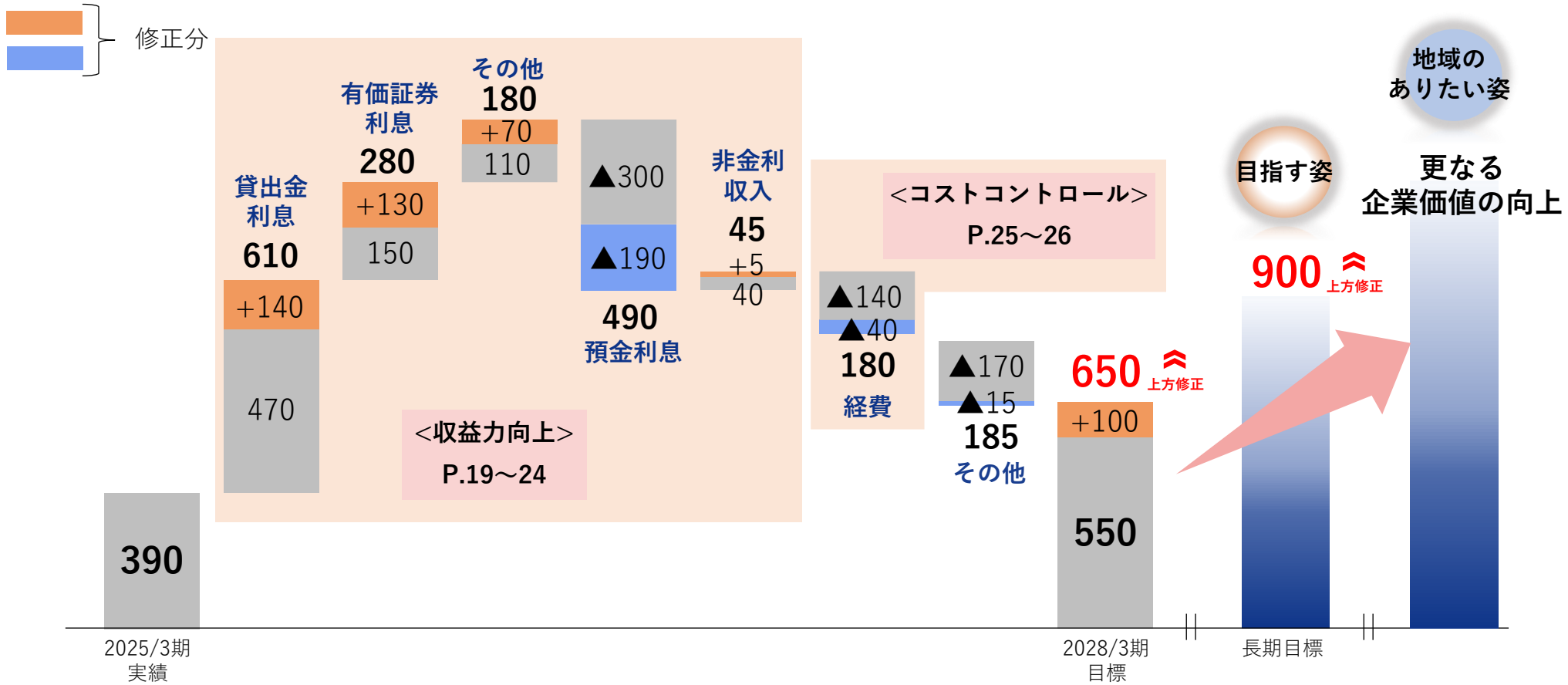
2026年度：0.75%
2027年度：1.00%

※OHRは2行合算

資金利益の更なる拡大と適切なコストコントロールにより収益力向上を目指す

上方修正後の利益成長イメージ（連結当期純利益）

（単位：億円）



ROE 6.05%

^{上方修正} 8.5%

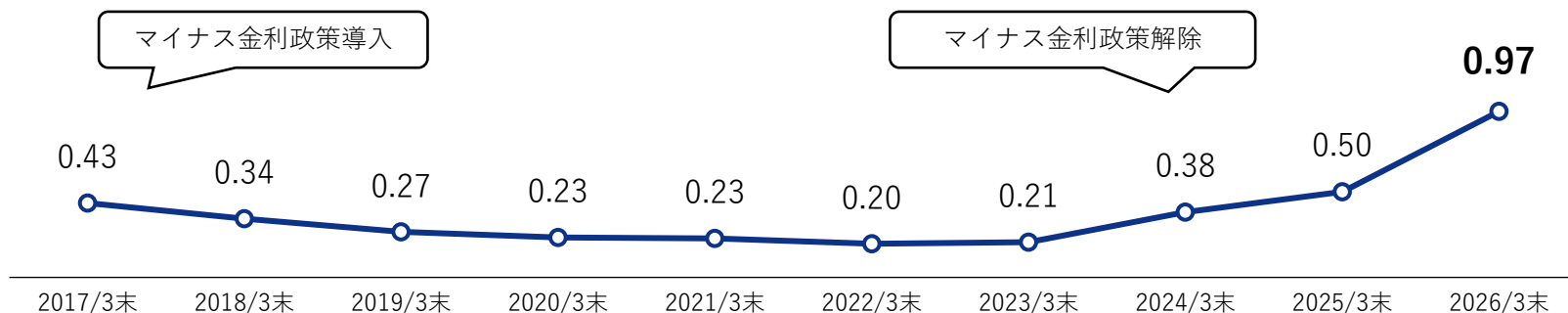
^{上方修正} 11%

企業価値向上に向けた取り組み



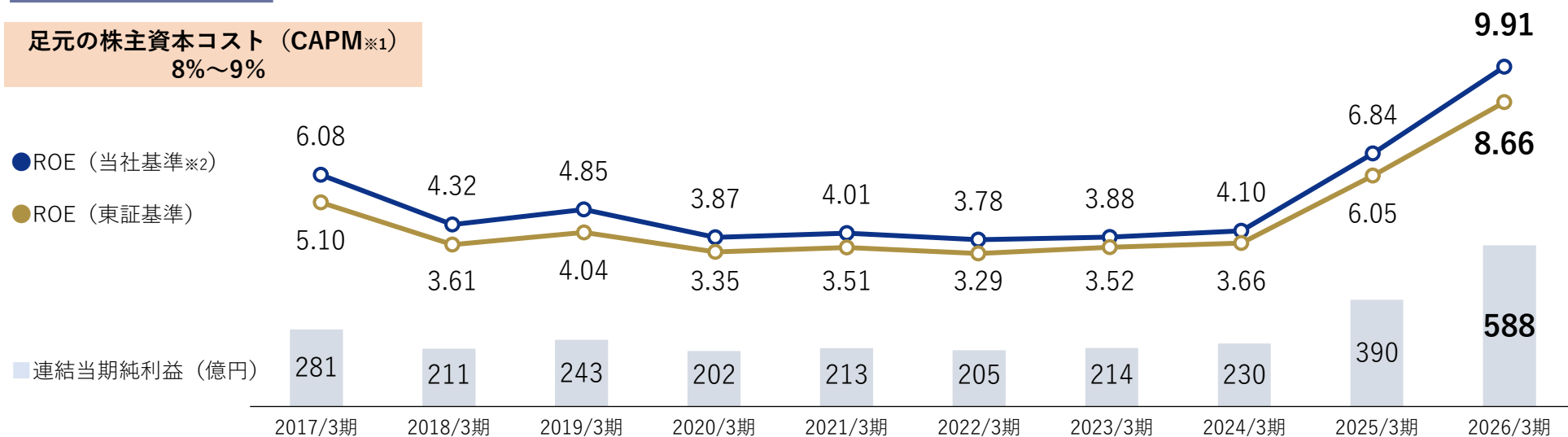
PBR1.0倍超の定着に向け、ROEは資金利益の増加を主因に着実に改善

PBRの推移



ROEの推移

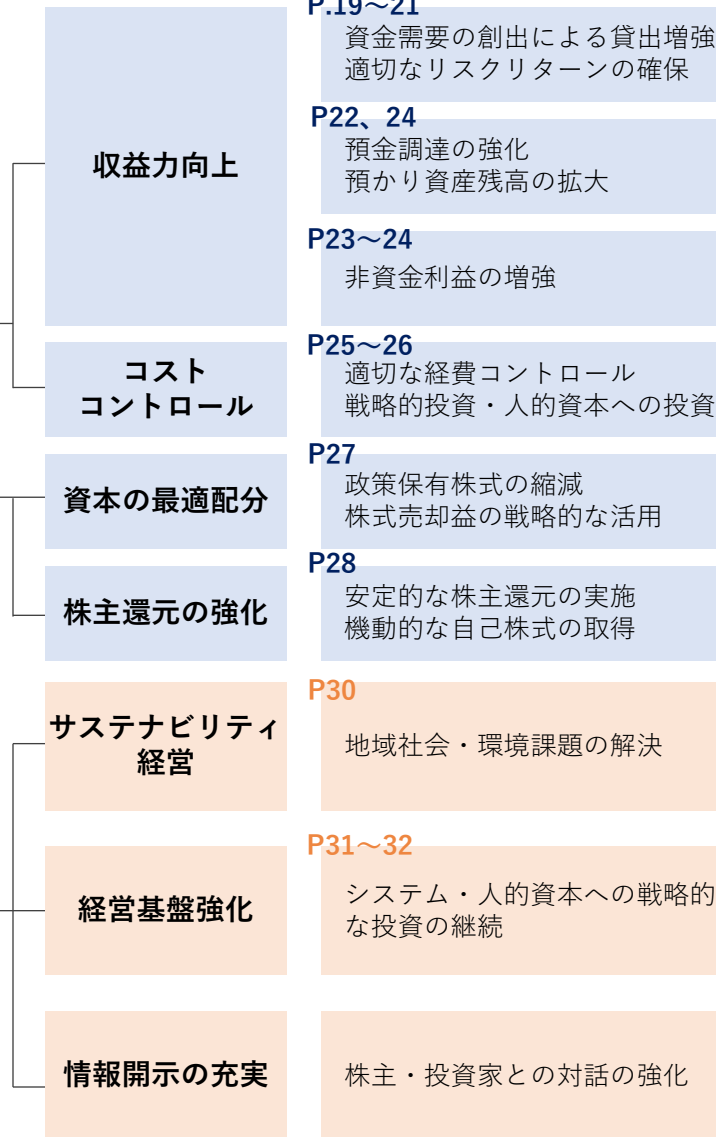
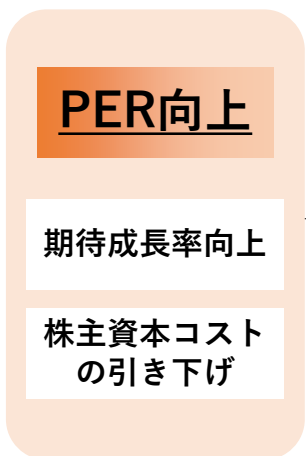
足元の株主資本コスト (CAPM※1)
8%~9%



※1 CAPM = 国債金利 + β × TOPIXリスクプレミアム ※当社基準で算定

※2 ROE(連結、株主資本ベース) = 連結当期純利益(優先株式配当控除後) / (期首株主資本(優先株式除く) + 期末株主資本(優先株式除く)) / 2

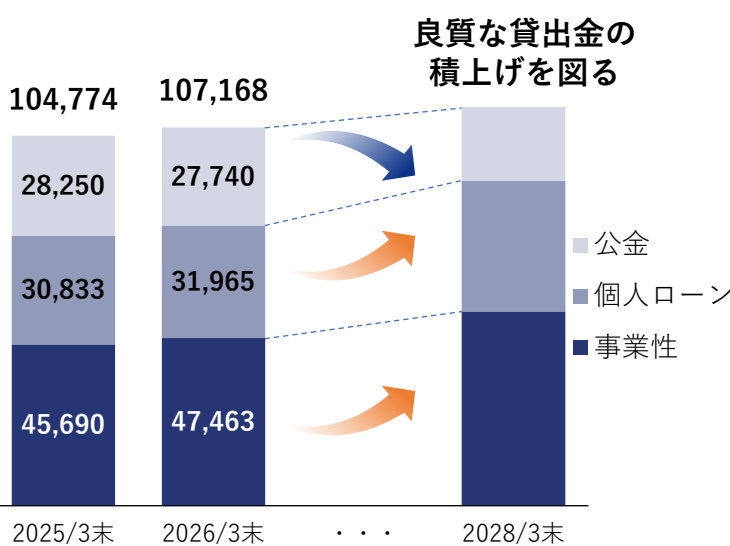
PBR改善



主要KPI	計画	2026年3月期実績
事業性貸出平残	5.0兆円	4.6兆円
預金平残	15.0兆円	14.5兆円
預かり資産残高	3.0兆円	2.7兆円
ソリューション支援件数(累計)	2,200件	858件
OHR	40%台後半	51.82%
政策保有株式(連結純資産対比)	20%未満	22.3%
普通株式総還元性向	40%目途	39.5%
SX/GX関連投融资(累計)	12,000億円	3,530億円
女性管理職比率	30.0%	27.8%
キャリア採用者数(累計)	250名	74名
ソリューション人材	2,500名	2,261名
アプリユーザー数	140万人	116万人
エンゲージメントスコア	前年水準以上	3.58(前年比+0.11)

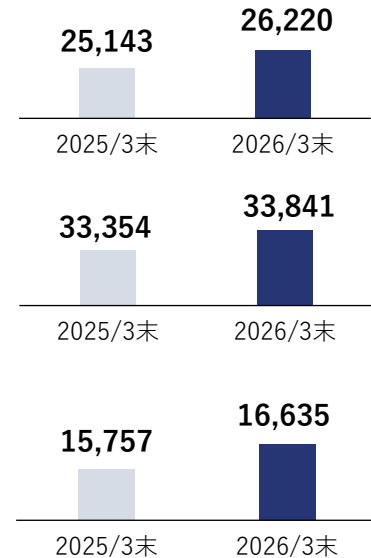
マーケット特性に応じた戦略の展開により残高増強を図る

貸出金残高（億円）



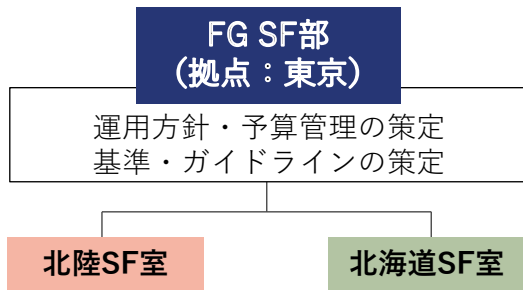
<p>北陸</p>	顧客接点強化と地域課題の解決力向上により Market Share を更に高め、圧倒的存在感と安定的な収益基盤の確保につなげる
<p>北海道</p>	Market Chance が見込まれる 道央地区 を中心に次世代産業等への取り組みによって、中長期的な収益機会の確保を目指す
<p>東京・大阪・名古屋ほか</p>	歴史ある店舗と長年の取引で築き上げた顧客基盤を活かしながら、 人員を戦略的に配置することで、Market Size を最大限に活用し、収益の確保を目指す

事業性・個人ローン計（億円）

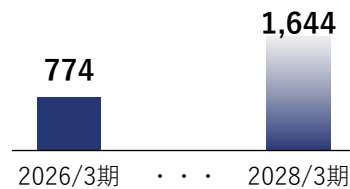


ストラクチャードファイナンスの強化

- FGにストラクチャードファイナンス部を設立し、グループ一体運用の強化を図る（2026年6月予定）



ストラクチャードファイナンス平残（億円）



半導体関連投融资の強化

- 2026年3月Rapidus社へ50億円の出資を実施
- 広域ネットワークを活かし半導体関連企業への成長支援を強化

2023年2月～2026年3月末までの累計実績

単位:億円	サプライチェーン※1		まちづくり※2		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
関連融資	255	727	843	1,036	1,098	1,763

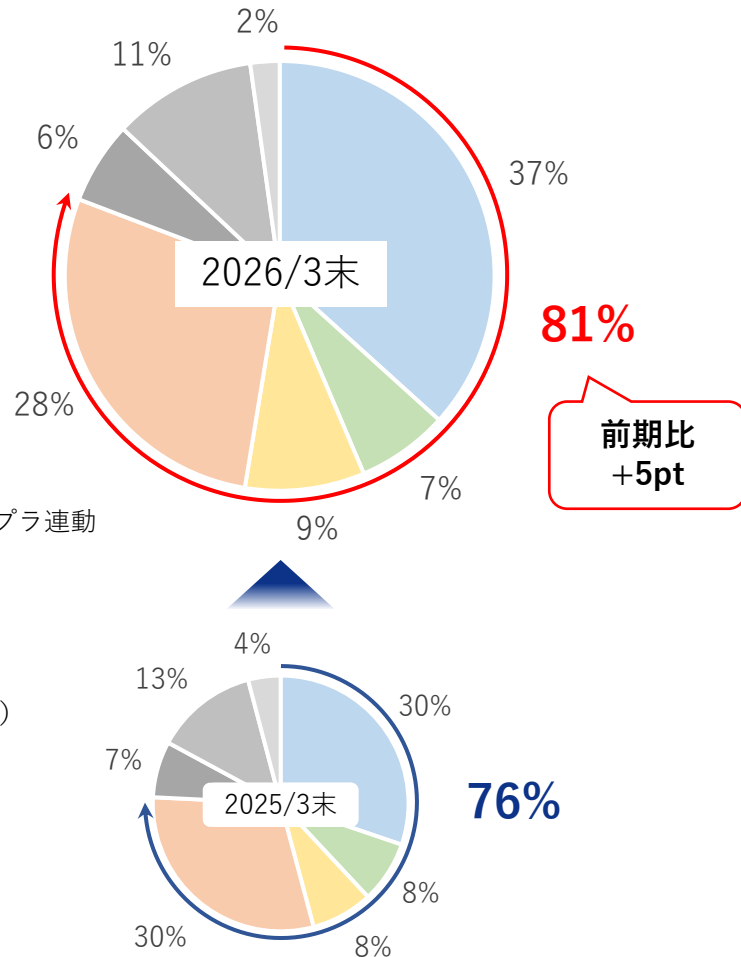
※1 半導体関連融資：当社グループ定義

※2 まちづくり：半導体関連産業に付随して発生する不動産・アパートへの融資

金利感応度上昇を通じて、資金利益の伸長余地が拡大

貸出金の金利別内訳

▶ 市場金利連動貸出の伸長により金利感応度は上昇

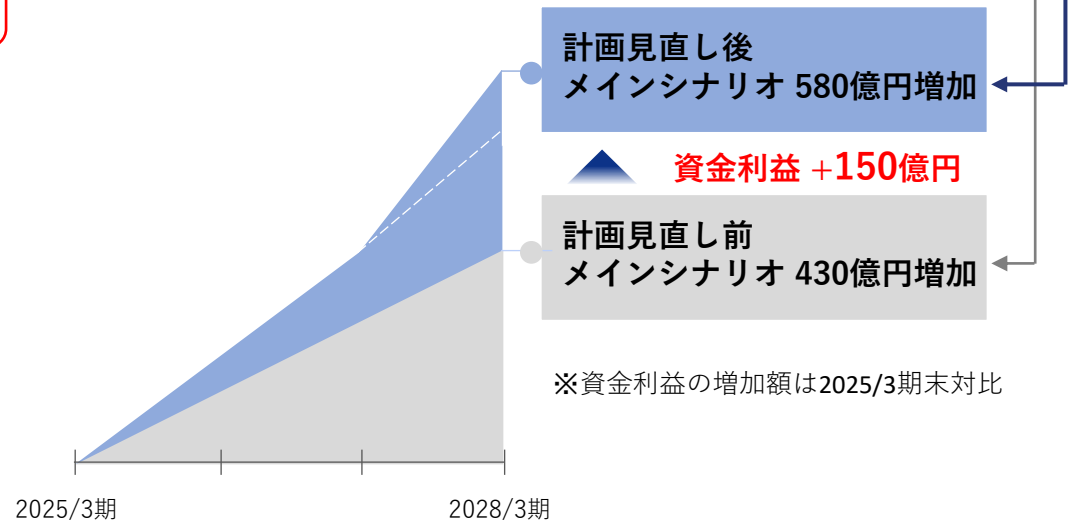


資金利益への影響

▶ 貸出金の堅調な増加や金利感応度の上昇に加え、政策金利見通しの変更により、約150億円の増収影響

政策金利前提	2025年度	2026年度	2027年度
計画見直し後	2025/12 0.5% ⇒ 0.75%	0.75%	1.00%
計画見直し前	2025/7 0.5% ⇒ 0.75%	0.75%	

【金利前提に基づく影響イメージ】
(資金利益の増加イメージ)

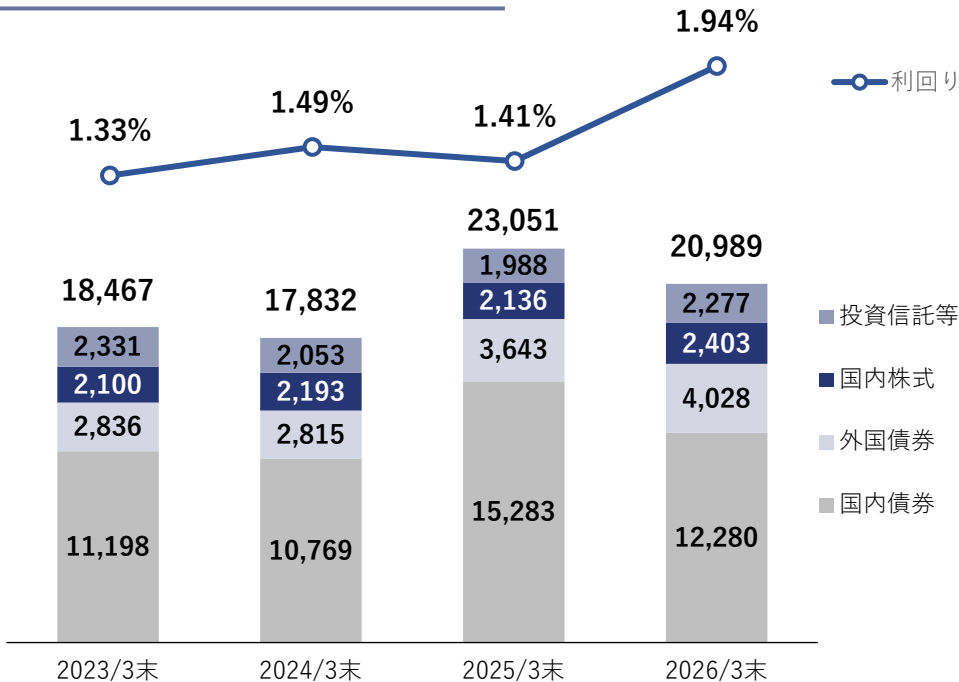


金利リスクの抑制と安定的な収益確保の両立を目指したオペレーションを継続

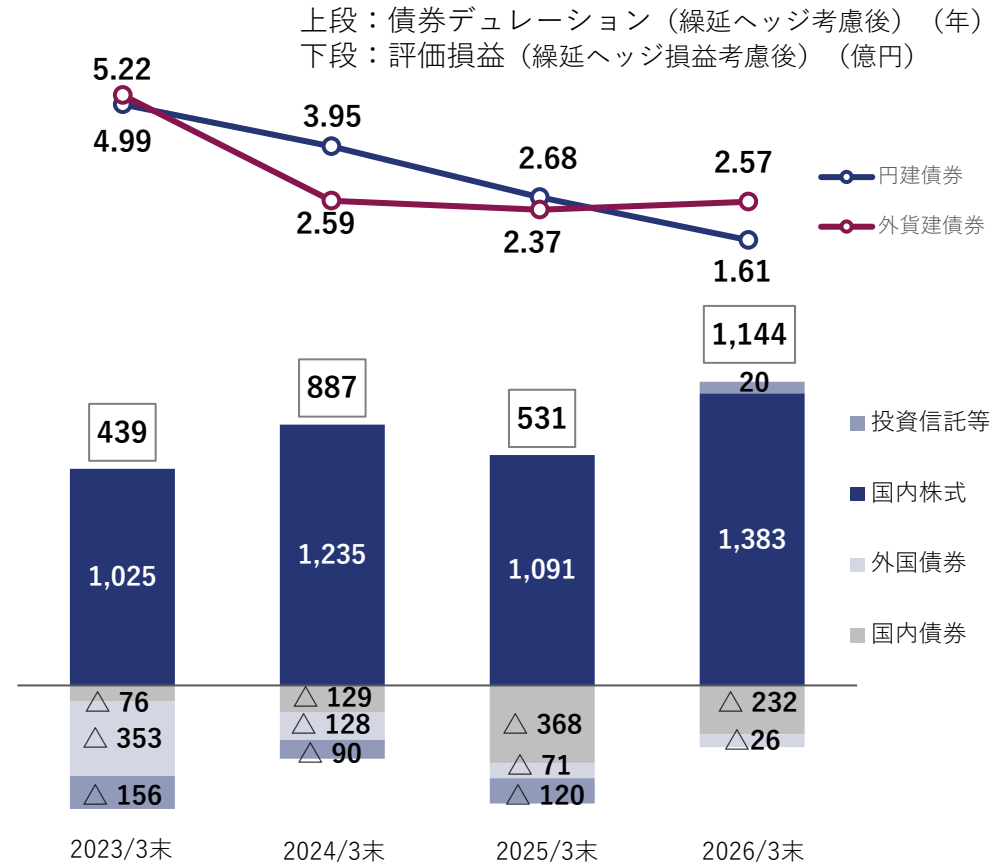
運用方針

- FG一体での戦略策定とリスク管理を通じて運用の高度化を図り、安定的な収益を確保するポートフォリオを構築
- 金利リスク量やデュレーションに配慮しリスク管理を図りつつ国内金利の上昇を見極めながら、中・長期ゾーンへの投資も検討

残高・利回り推移 (億円、%)



適切なリスク管理の実施



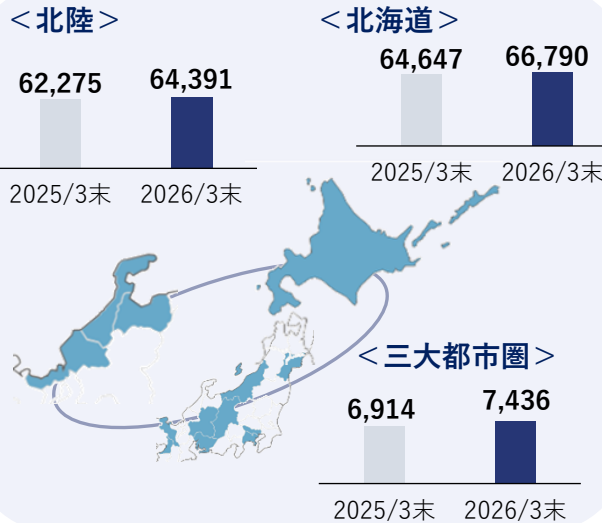
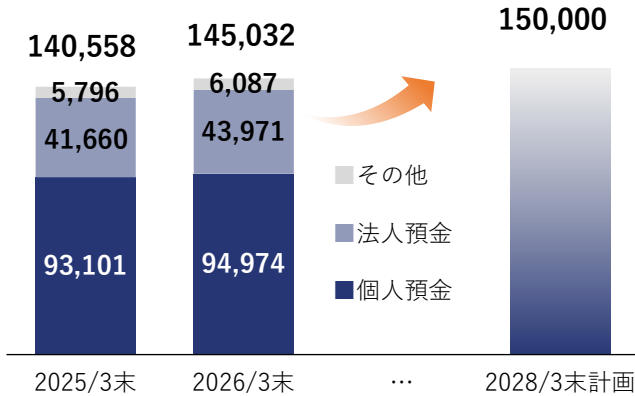
金利上昇時の有価証券評価損益への影響

パラレルに100bpv 上昇した場合の影響試算値

	円債	外債	米ドル/円 換算レート
2026年3月末基準	▲209億円	▲101億円	159.88円
2025年3月末基準	▲401億円	▲84億円	149.52円

リアルとWEBの双方で利便性の向上を追求し、更なる預金獲得を目指す

預金・NCD残高（億円）



利便性の向上

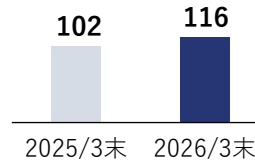
WEBチャネル

個人向けアプリ

- 金融、非金融機能の拡充
- セキュリティの向上



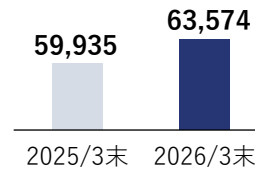
アプリユーザー数（万人）



法人ポータル

- 決済機能の利便性向上
- 各種サービスのデジタル化

法人ポータル登録先数（先）



リアルチャネル

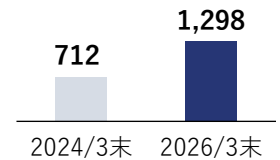
ATM網の拡充

- 金融インフラを維持すべくATM網を拡大
- 「道民のATM」プロモーション強化により利用件数はさらに増加

道民のATM取引件数（1台あたり）



自行ATM設置台数（台）



基盤取引の拡充

個人向け

手数料だれでも0円（北陸銀行）

- コンビニATMやアプリ振込等の手数料を無料化

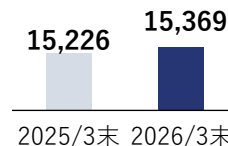


法人向け

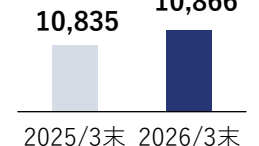
メイン化による決済機能の獲得強化

- メイン化推進運動による接点強化で決済機能等の獲得を図る

仕向発信件数（千件）



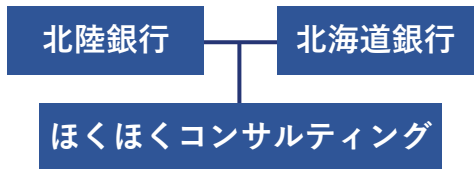
給振元受付数（千件）



※事業性の仕向発信・給振元受付数

グループ一体運営の強化によりM&A収益は過去最高実績

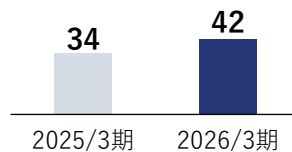
グループ一体運営の強化



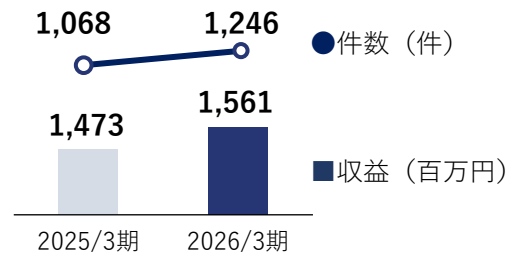
- 2行の人員を集約し、マーケットに合わせて専門人材を柔軟に配置
- グループのノウハウを集約することで最大限に活用できる体制へ



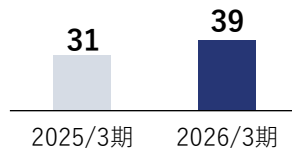
北海道地区のM&A件数
(売買の合計)



ビジネスマッチング商談件数/収益



北陸地区のM&A件数
(売買の合計)

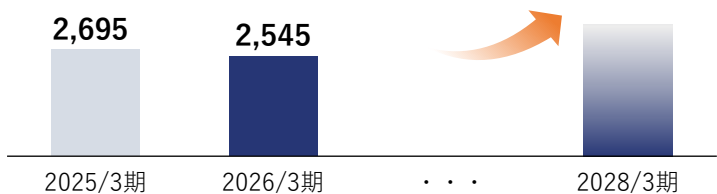


➢ 北陸⇔北海道の地域経済への貢献と発展を図るべく、ほくほくビジネスマッチングとして取り組みを強化

M&A・事業承継・その他コンサルティング収益 (百万円)



法人ファイナンス関連収益 (百万円)



TOPICS シンガポール現地法人の設立

海外ビジネスの強化を図るため、駐在事務所を現地法人化

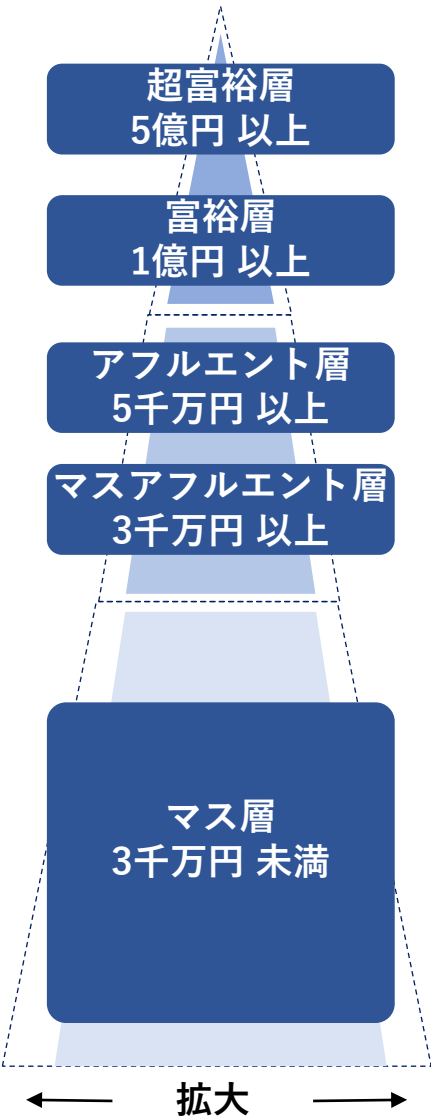


- 海外進出支援、販路拡大、M&A等のコンサルティング業務を中心に実施
- 海外シンジケートローン案件の組成支援

現地法人設立予定：2026年10月

※開業予定：2027年1月

セグメントごとに戦略を明確化し、顧客との接点強化を通じて預かり資産取引の拡大を目指す

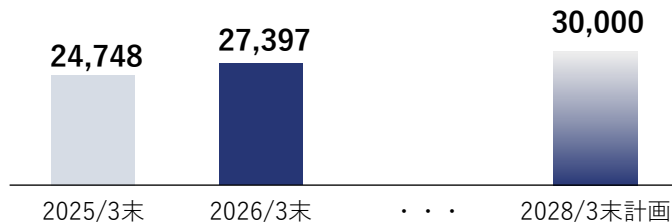


マス層向け：デジタルチャネルの拡大

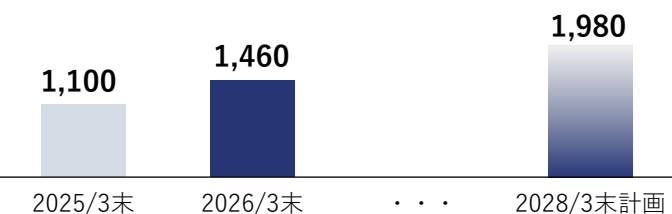
- ▶ アプリにロボアド機能、ポートフォリオ提案機能を実装
- ▶ コンタクトセンターによるアフターフォローの強化
- ▶ マーケティングオートメーションツール等の活用による長期的な資産形成を支援

預かり資産残高（億円）

※預かり資産（預金・証券含む）30百万円以上先



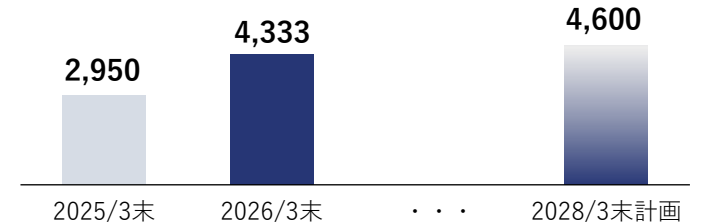
NISA残高（億円）



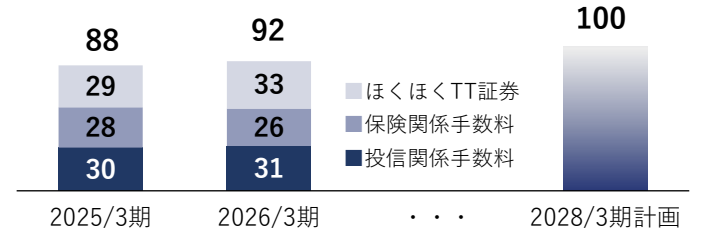
富裕層向け：コンサルティングの拡大

- ▶ 信託や不動産などの非金融支援も含めた多様なソリューションをワンストップで提供
- ▶ プライベートバンキング室を開設し富裕層向けサービスを拡充（2026年7月予定）

ほくほくTT証券の預かり資産残高（億円）

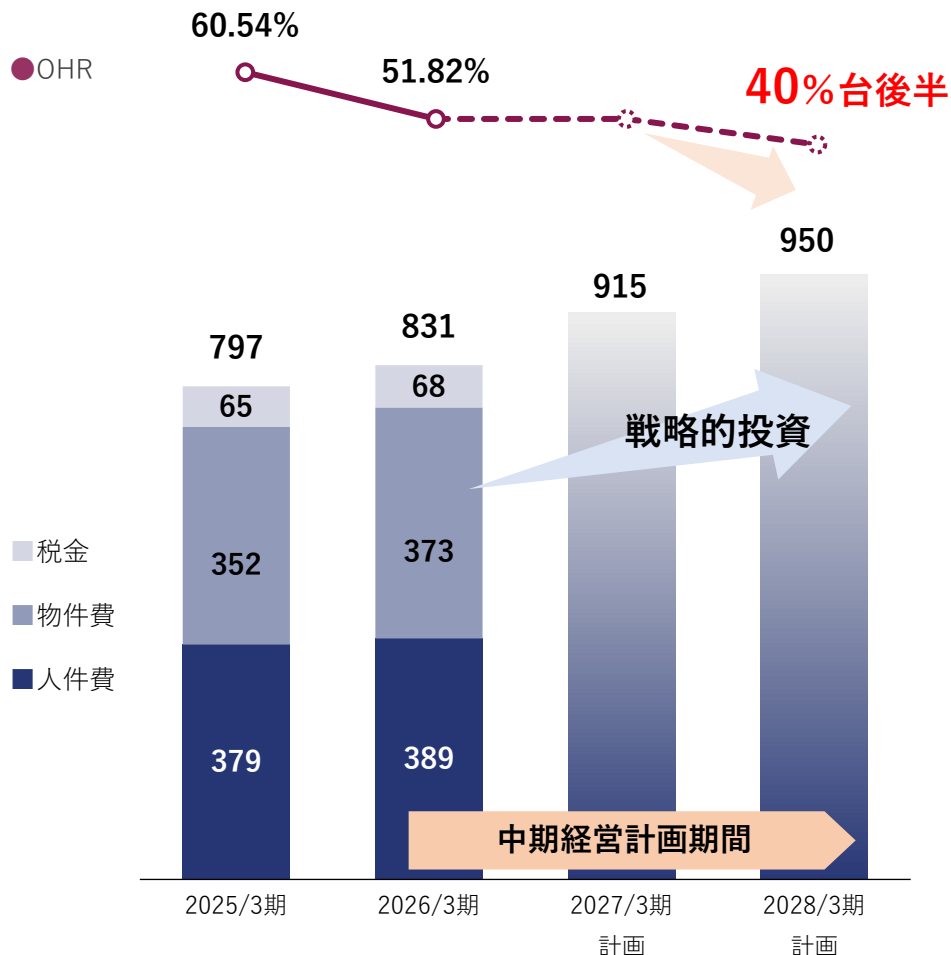


個人コンサルティング手数料（億円）

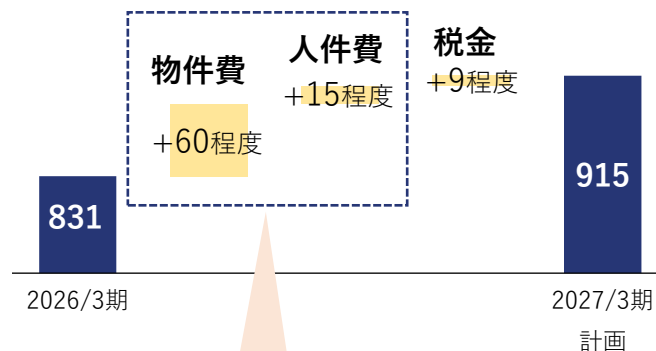


持続的な成長に向けた投資を行いながら、OHR40%台後半を目指す

経費・OHR（億円・％） [2行合算]



増加要因 [2行合算]



インフラ

- 金融インフラの維持とサービス向上にかかる更新投資（店舗修繕、拠点再配置、営業店システム等）
- インフレに伴う事務委託費等の増加

成長投資

- 業務効率化と生産性向上に向けた生成AI/DX関連投資
- 預金獲得に向けたプロモーション

人的資本

- キャリア採用の強化
- 職員の処遇改善
- プロフェッショナル人材への投資

業務効率化と営業力強化により生産性の飛躍的向上を目指す

生成AI活用ビジョン

AI
技術
の
進
歩



AIエージェントを活用した業務プロセス全体の改善

2026年：法人渉外業務支援

業務特化型AIの活用による直接的な業務の改革

2025年：融資関連書類作成

2026年：面談記録・要約

生成AI基盤の導入による汎用的な業務の効率化とユーザーのAIリテラシー醸成

2024年：生成AI基盤導入

対面/Web研修・勉強会

利用ユースケースの創出

Step 1

Step 2

Step 3

2024年

2026年

現在地

2027年

長期ビジョン

AI技術を活用した抜本的な業務の革新による生産性の向上

- ・ 業務効率化による人員体制再構築
- ・ 渉外支援による営業力強化
- ・ AIガバナンスの強化
- ・ 顧客へのDX・AI活用支援

AIリテラシーの向上

グループ全体のAIリテラシーの底上げ

- 生成AIの基礎リテラシーの研修受講
- G検定の取得推進

専門人材の育成

- 専門の教育カリキュラムを導入し、新たな価値創造ができる人材の確保

AI戦略部の新設

- FG全体のAIトランスフォーメーションを統括管理する部署として「AI戦略部」を新設（2026年6月設立予定）

営業戦略部

DXイノベーショングループ

独立組織として新設

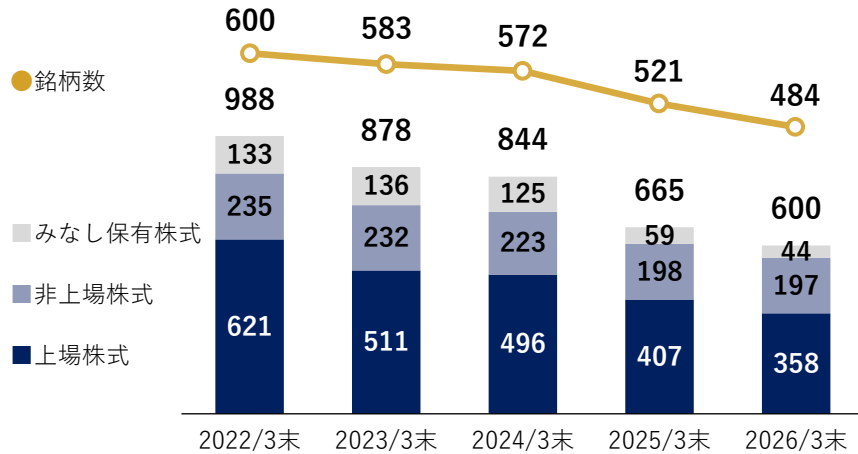
AI戦略部

新設の目的

- グループ全体のAIスキル底上げ
- AIガバナンスの統一化
- AI戦略の策定・実行力の向上
- グループ連携の強化

2028年3月末までに連結純資産対比で20%未満を目指す

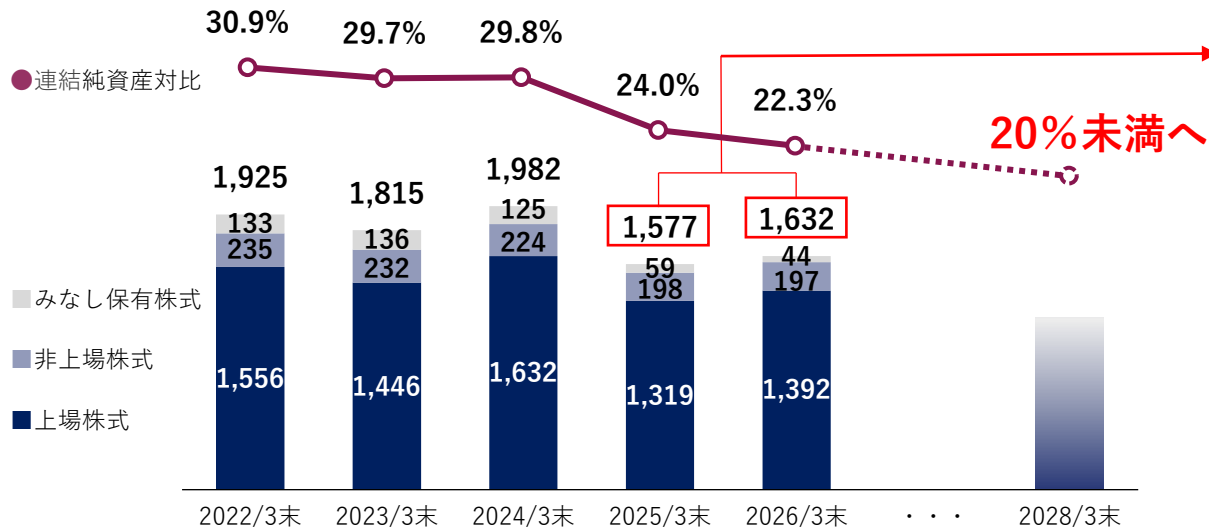
簿価残高/銘柄数 (億円/社)



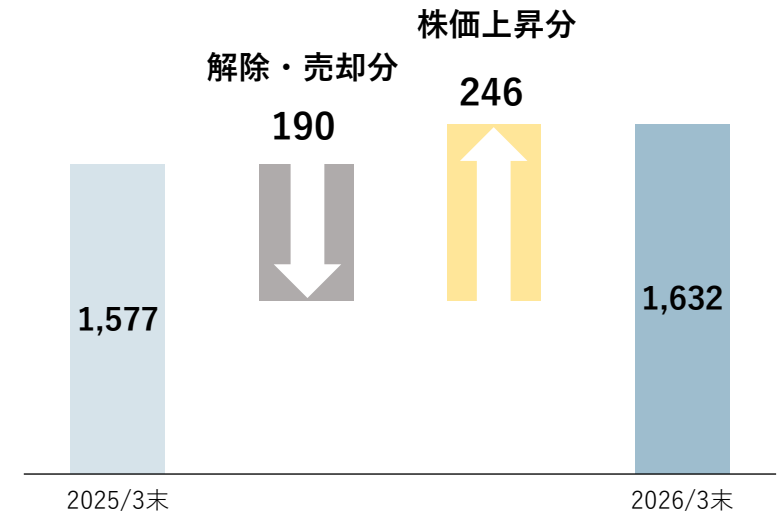
縮減に向けた取組状況等

- 着実な縮減に向けて全先と対話を実施
- 2025年度は、政策解除・売却が一定程度進み連結純資産対比の比率は減少
- 純投資株式として保有する銘柄は、売買の意思決定を投資有価証券の所管部署に移管し管理のうえ機動的に売却
- 引き続き対話を重ね、連結純資産対比20%未満を目指して取り組んでいく

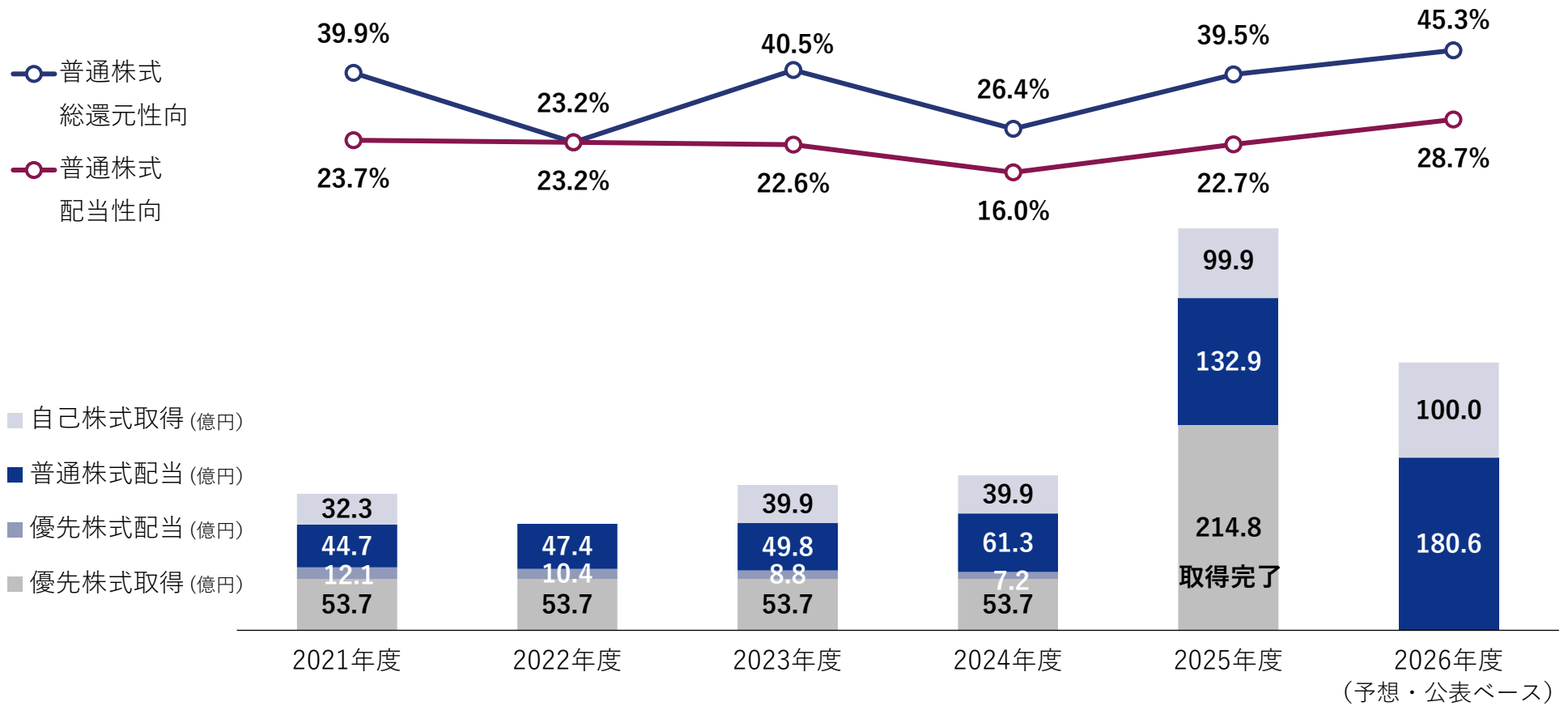
時価残高/連結純資産対比 (億円/%)



時価残高の上昇要因 (億円)



株主還元の強化により普通株式総還元性向は着実に改善



	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度 (予想・公表ベース)
普通株式配当	35円	37円	40円	50円	110円	150円
	—	—	—	(中間22.5円)	(中間45円)	(中間75円)
	(期末35円)	(期末37円)	(期末40円)	(期末27.5円)	(期末65円)	(期末75円)
自己株式取得	32億円	—	40億円	40億円	100億円	100億円

経営基盤の強化



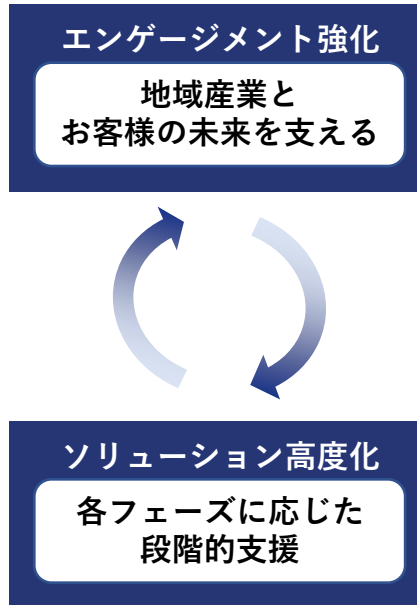
GHG排出量ネットゼロへ向け、自社の脱炭素と地域・お取引先への脱炭素支援を継続

自社の価値向上

- ▶ 地域・お取引先のサステナビリティ推進に向け当社が率先して取組みを進める

GHG排出量 (Scope1、2)

(単位：t-CO₂)

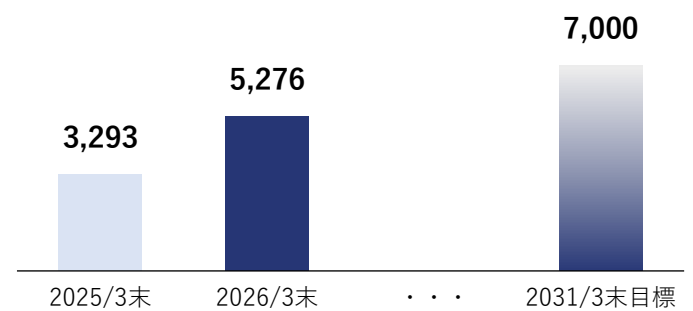


地域の価値向上

- ▶ ファイナンスを通じた地域・お取引先のサステナビリティ向上を強化

環境関連投融資実行累計額 (億円)

※2021年度からの累計

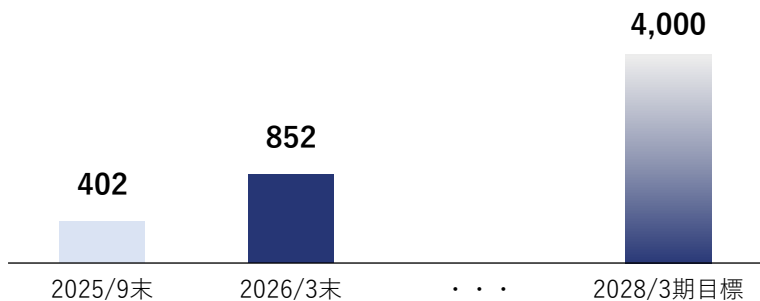


取引先の価値向上

- ▶ 個別のニーズに応じたソリューションを提供し、お取引先のパートナーとして伴走支援

SX/GX関連ソリューション収益累計額 (百万円)

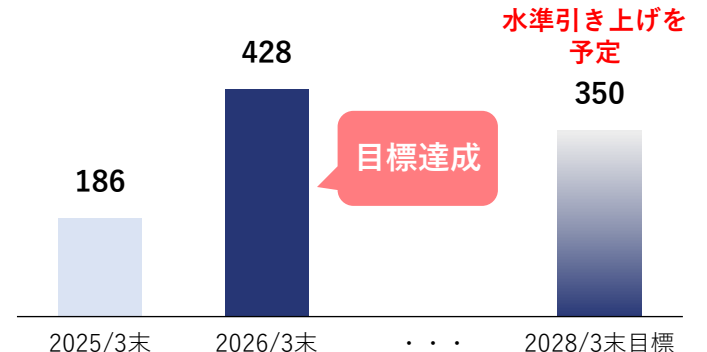
※2025年度からの累計



地域・自社のSX/GXを実践する人材の高度化

- ▶ 各フェーズに応じた支援を実践するための人材育成を強化

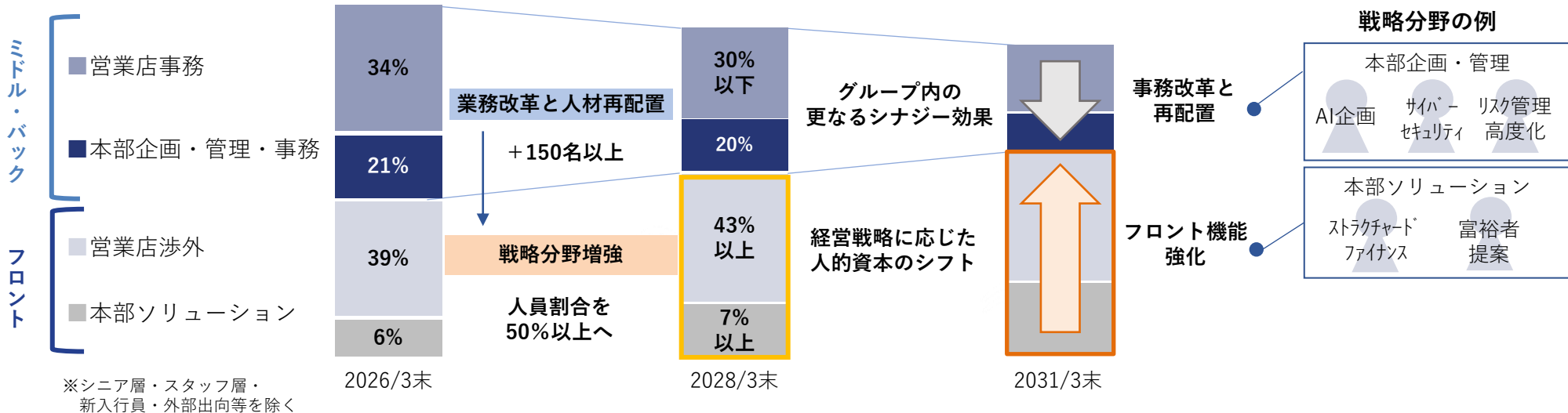
SX/GX人材 (コア・ミドル) (名)



課題解決の深化や価値創造の最大化に向けた人材ポートフォリオを構築

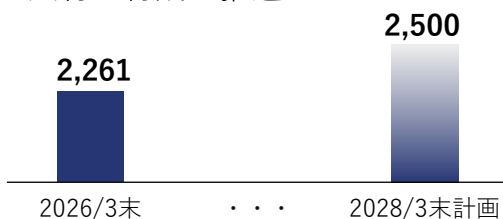
人材ポートフォリオの構築

➤ 業務改革と人材の再配置を通じてミドル・バック人員のスリム化を図り、経営戦略に応じた人的資本のシフトを進める



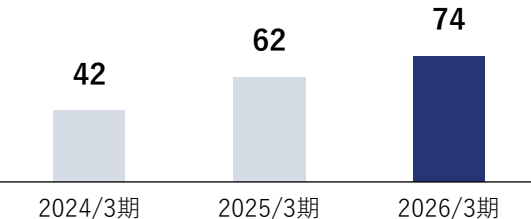
ソリューション人材 (名)

➤ 多様化するお客さまのニーズに応えるため、専門性を有するソリューション人材の育成を推進



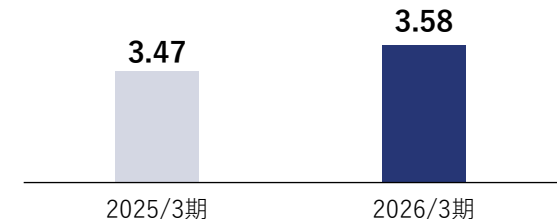
キャリア採用者数 (名)

➤ 戦略分野での即戦力人材の確保により成長基盤を強化



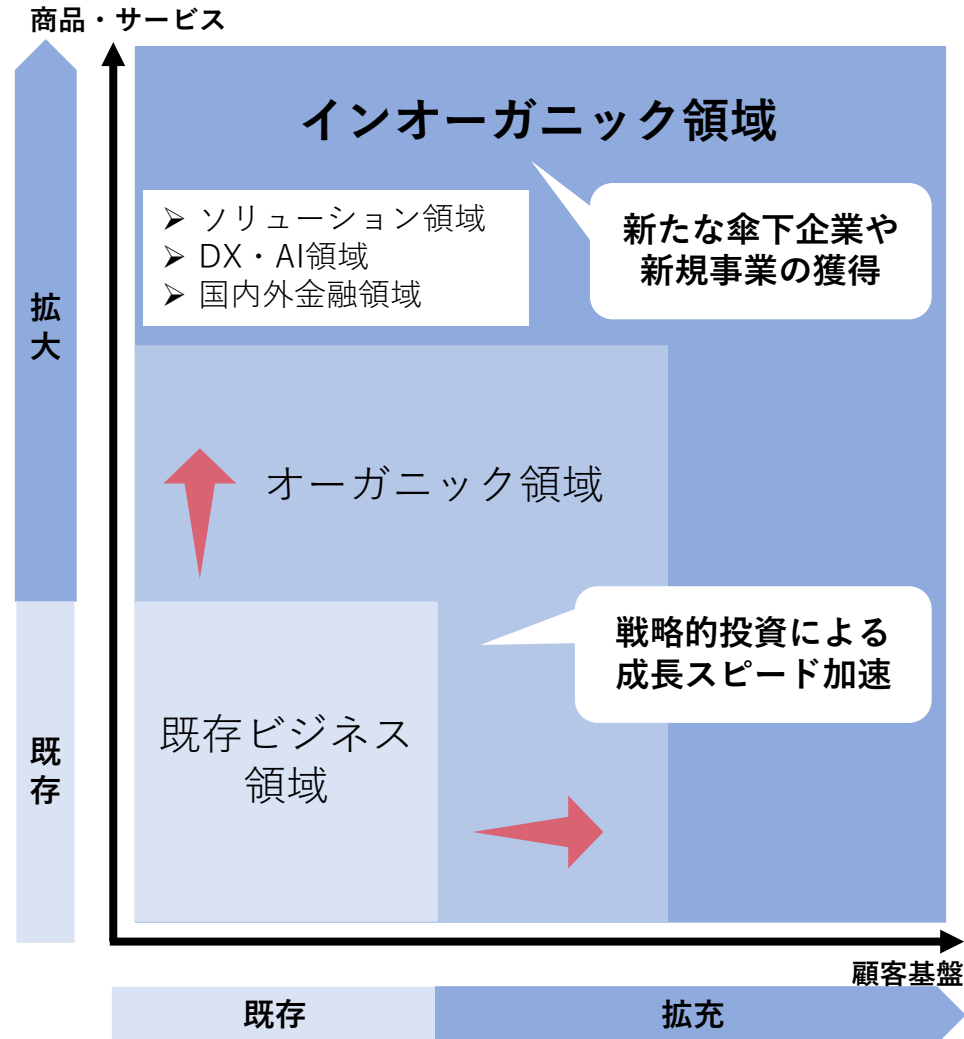
エンゲージメントスコア (点)

➤ エンゲージメント向上を背景に価値創造を支える人材基盤を構築



更なる企業価値向上に向けた投資機会を追求していく

戦略のイメージ



近時の取組み

北海道リース(株)の持分法適用会社化(2024年10月)

<国内金融領域の拡大>

- ファイナンスの多様化による高付加価値の提供
- ストックビジネスの強化

北陸コンピュータ・サービス(株)の持分法適用会社化(2026年4月)

<ソリューション領域・AI領域の拡大>

- 北陸エリアにおける、地元企業のDX推進を実現
- 当社グループの業務効率化・高度化の支援

(株)北陸カードと道銀カード(株)のカード事業統合(2026年5月公表)

<グループシナジーの追求>

- 経営資源(人材・システム等)の最適配分による効率化
- 営業力強化によるサービスの品質向上

東京に専担者を配置(2026年4月)

- ・ 情報収集の強化と機動的な対応が可能な体制を構築

参考資料



北陸銀行

(億円)

	2025年度		2024年度
		前期比	
コア業務粗利益	957	196	760
資金利益	833	210	622
うち貸出金利息	666	169	496
うち有価証券利息	351	122	228
役務取引等利益	115	△ 6	122
その他（国債等債券損益除く）	8	△ 7	15
経費（△）	442	22	420
（参考）OHR	46.26%	△9.03%	55.29%
コア業務純益	514	174	340
国債等債券損益	△ 173	△ 121	△ 52
実質業務純益	340	52	287
与信関係費用（△）	△ 31	△ 50	19
株式等損益	129	66	63
経常利益	516	172	343
特別損益	△ 4	4	△ 9
法人税等（△）	126	33	92
当期純利益	385	143	241
ROE	8.97%	2.93%	6.04%

業績ハイライト

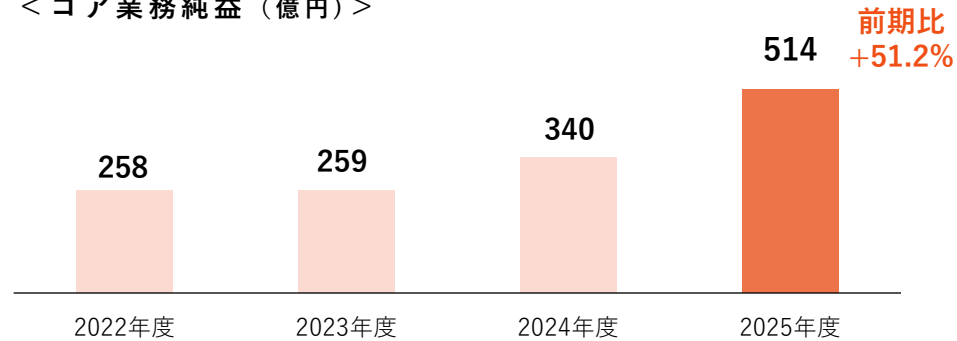
コア業務純益 514億円（前期比+174億円、同+51.2%）

貸出金利息や有価証券利息など資金利益が改善したことを主因に前期比174億円増加。

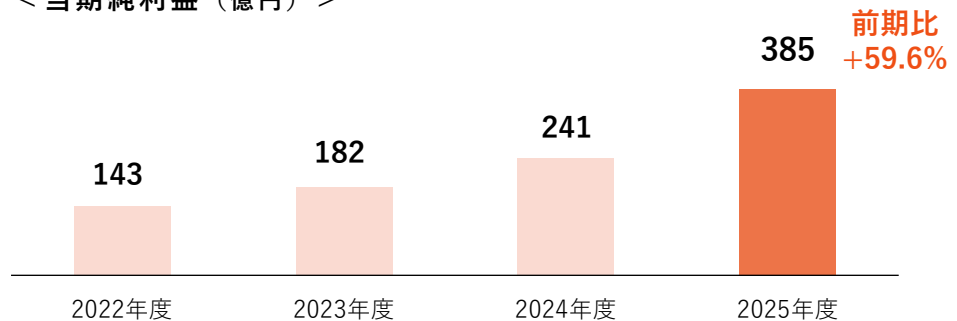
当期純利益 385億円（前期比+143億円、同+59.6%）

コア業務純益の増加に加え、株式等損益の増加や与信費用の減少により、前期比143億円増加。

< コア業務純益（億円） >



< 当期純利益（億円） >



北海道銀行

(億円)

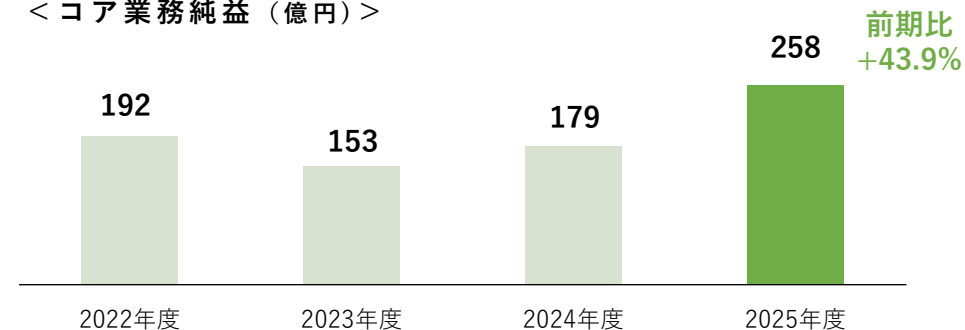
	2025年度		2024年度
		前期比	
コア業務粗利益	646	90	556
資金利益	587	74	513
うち貸出金利息	568	100	468
うち有価証券利息	70	8	61
役務取引等利益	67	2	65
その他（国債等債券損益除く）	△ 8	14	△ 22
経費（△）	388	11	376
（参考）OHR	60.05%	△7.67%	67.72%
コア業務純益	258	78	179
国債等債券損益	△ 116	△ 85	△ 31
実質業務純益	141	△ 6	148
与信関係費用（△）	△ 31	△ 80	49
株式等損益	78	41	37
経常利益	251	121	129
特別損益	△ 3	△ 34	30
法人税等（△）	68	28	40
当期純利益	178	59	119
ROE	8.40%	2.74%	5.66%

業績ハイライト

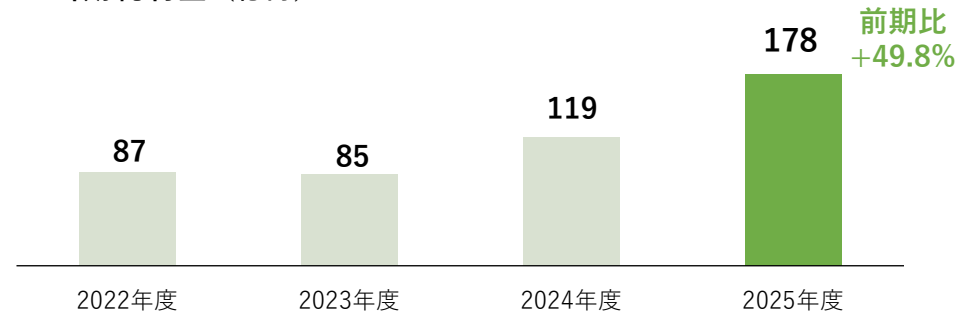
コア業務純益 258億円（前期比+78億円、同+43.9%）
貸出金利息など資金利益が改善したことを主因に前期比78億円増加。

当期純利益 178億円（前期比+59億円、同+49.8%）
コア業務純益の増加に加え、株式等損益の増加や与信費用の減少により、前期比59億円増加。

< コア業務純益（億円） >



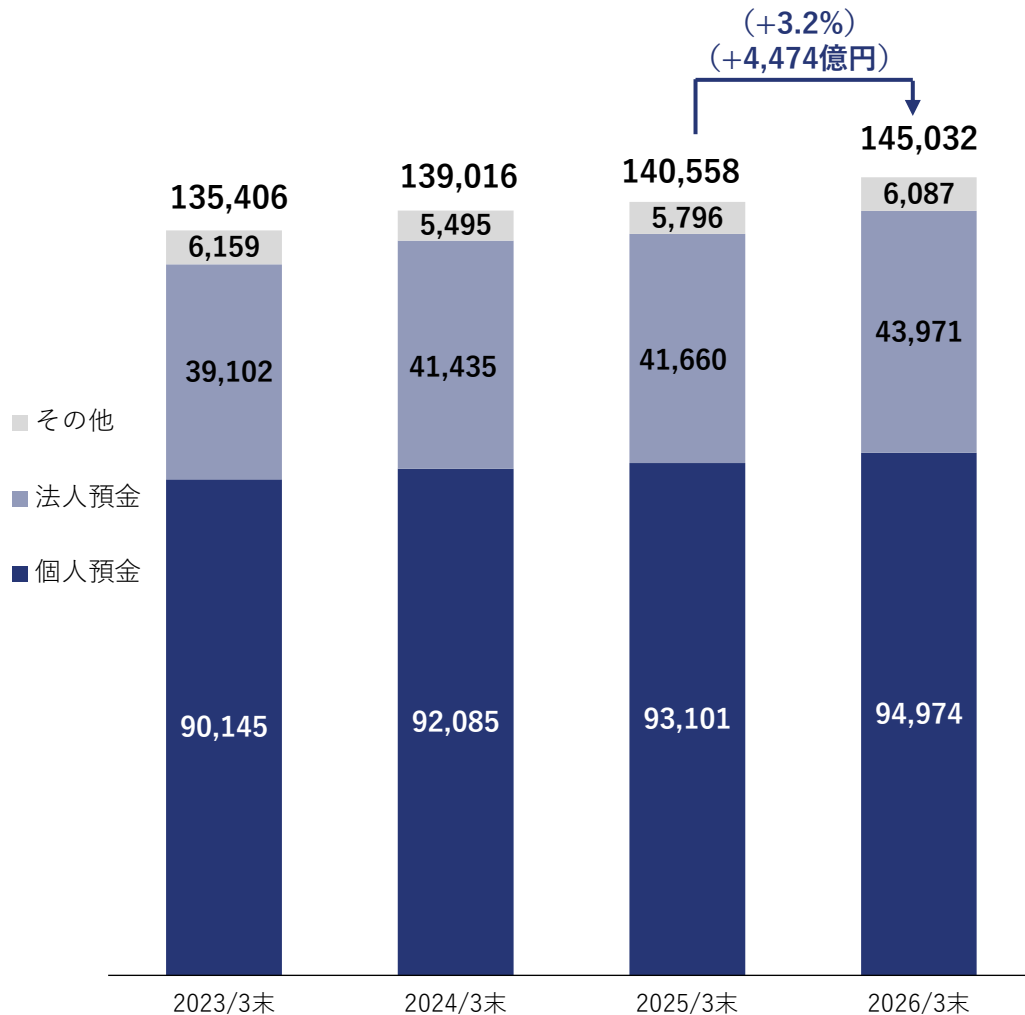
< 当期純利益（億円） >



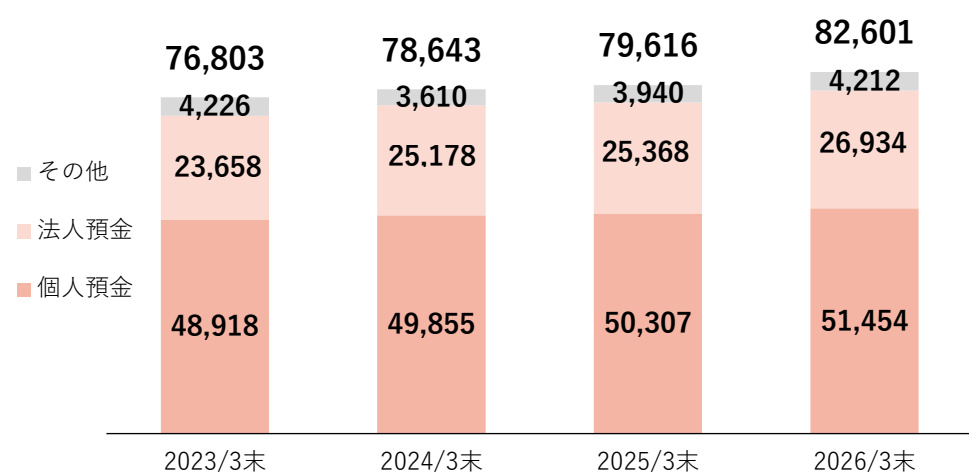
個人預金・法人預金ともに堅調に推移し、前期末比4,474億円増加（同+3.2%）の14兆5,032億円。

預金・NCD残高（億円）

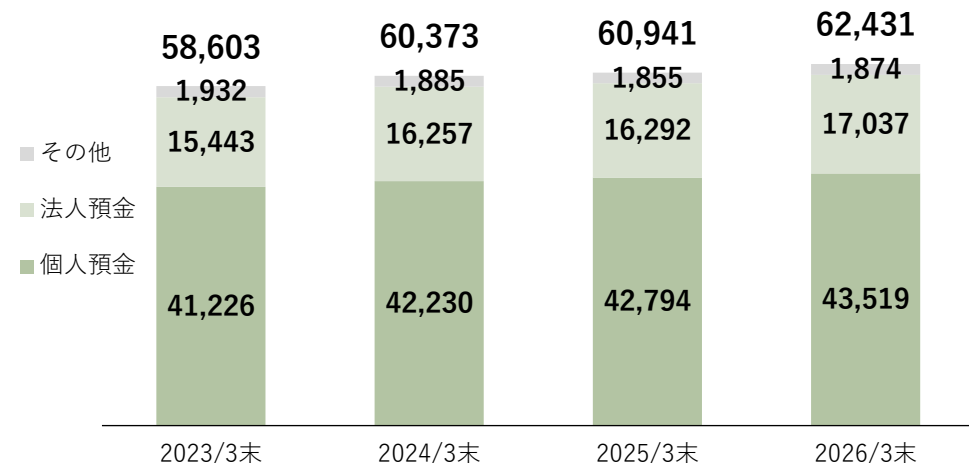
【2行合算】



【北陸銀行】



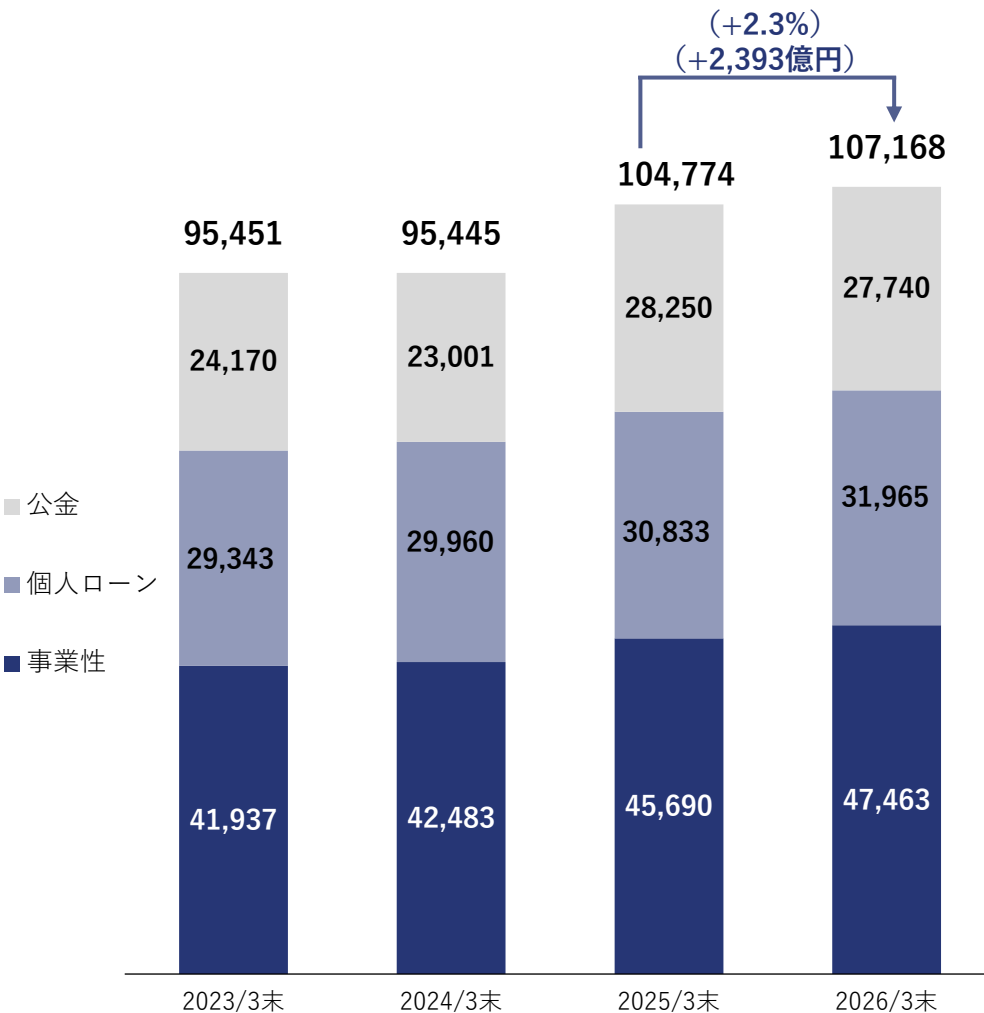
【北海道銀行】



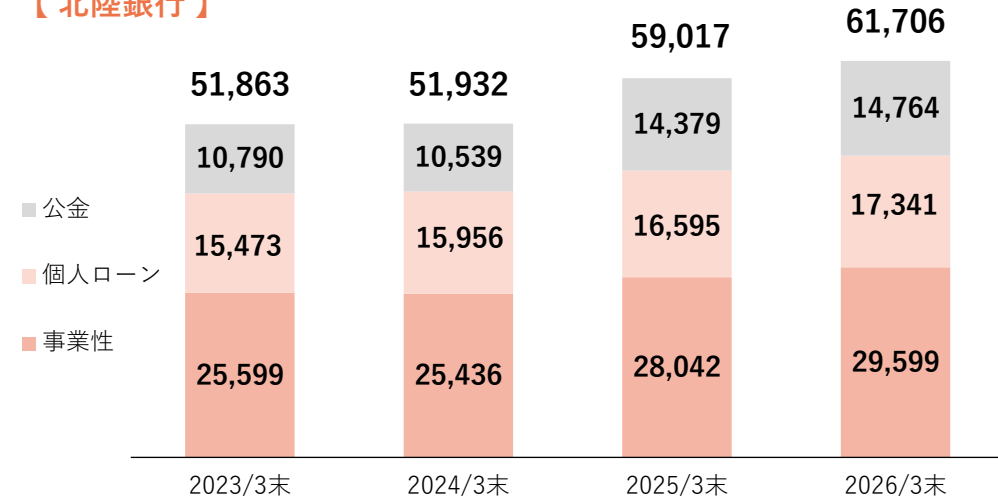
事業性・個人ローンともに堅調に推移し、前期末比2,393億円増加（同+2.3%）の10兆7,168億円。

貸出金残高（億円）

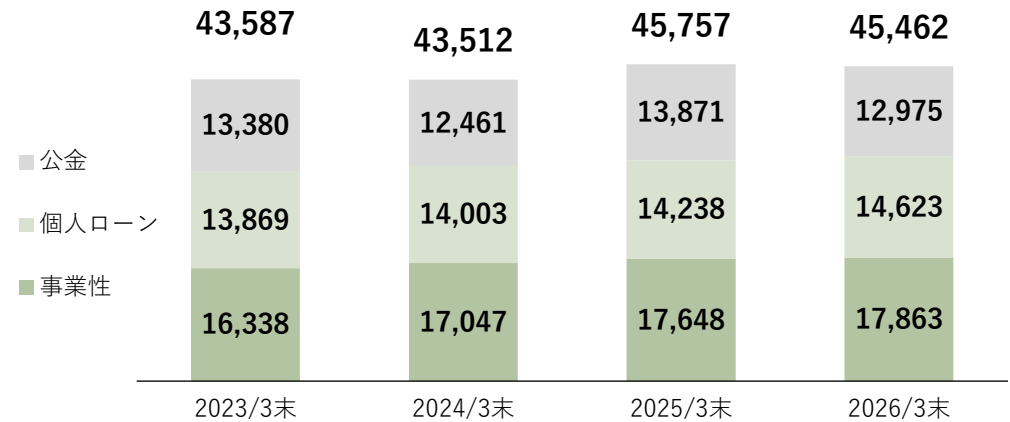
【2行合算】



【北陸銀行】



【北海道銀行】



本件に係るお問い合わせ先

株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
経営企画部（担当：丸田・工藤・窪田）

TEL：076-423-7331

E-MAIL：info@hokuhoku-fg.co.jp
<https://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

- 事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。
- 本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。
- 本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。